

京古本や往来

私の興味と日本の四季

クリフトン・カーフ

せわしさが背で聲上ぐ師走かな
佳風

私は、年の暮のあわたしさを日本に来て初めて知りました。しかしそれが何故かという疑問が解けるまでには、それ程時間はかかりませんでした。のんびりと迎へる新年のくつろぎがその答だということにすぐ気付いたからです。

私は、外国の人が日本の素晴らしさについて書いた多くの書物を読みました。それらは全て、日本の四季の移りかわりをあまざす語っていました。

そんな素晴らしい自然の移りかわりの中で生活している日本人を、心からうらやましく思うのは私だけではないでしょう。

季節のふし目ふし目のお祭りごとや、目的が達せられた後の日本人のリラックスぶり、あのお酒

の入った時の無類のはしやぎぶりを見れば、この辺が、いろいろの謎の正解に落ちつくように思われます。

私は、二十数年日本に住み、創作版画をなりわいとして、今日に至りました。

最近、私は、かの仙厓禅師の遺した墨蹟や絵が面白く、自ら篆刻した「昔仙厓、今禅外」の落款通り、仙厓の境地にまで自分を高めたいと願って日夜絵筆をとっているのです。

そして、その他に、日本流の諺にも異常な興味を持って、諺と自作の絵の合体は、作品に仕上げたものだけでも数百を数えます。

そして、私と俳句とのつき合いも、諺同様異常な興味を覚え、英文の「THE HAIKU」に載った代表的な俳句を読破、その上自作の俳

季刊
第23号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区上ル東洞院六角業協内
京都府古書籍商組合22132
振替 京都 22132000
年間購読料 5000円
送料 込
頒 価 1500円



「昔仙厓 今禅外」の落款

句も手控帖数冊に書き残すまでにまりました。

俳句といい、諺といい、それらの持つ独自のリズムと語韻には、何故か、キーンと外人の心を打つ東洋のサムシングがあるのです。

これからも版画や、墨絵や、俳句や、諺を通じて、日本の、そして京都の四季讃歌を高らかに詠いつづけて行きたいと思っています。

そこで大変借越ながら、過日私の友人T君と一緒に、京都の料理屋さんの所望で創ったカレンダーが、大変評判が良かったので、洛中四季のうた曆を、睦月から師走まで十二句ご披露して拙稿を終らせます。

臘梅の花や八坂の春隣り 一月
豆撒かれ鬼も祇園を逃げまどい 二月
涅槃会や小瓢片手に般若湯 三月



クリフトン・カーフ作版画「年賀」
筆者紹介
版画家
日本版画協会京都支部長

- 酒肴徳利盃櫻花 四月
- 皇月空晴れて天下の登り鯉 五月
- 茅の輪や纏手恵比須の邪氣払い 六月
- 山鉦の祇園囃子や夏さかり 七月
- 八朔や六道詣りに大文字 八月
- 団扇の舞うや小路の浴衣會 九月
- つわものが時代祭りや晴れ姿 十月
- 楼門の朱や晴れ晴れと七五三 十一月
- 大黒も恵比須も師走の祇園かな 十二月

謹賀新年..... 京都古書研究会加盟店

- 赤尾照文堂 中京区河原町通六角一五八
- 石川古本 東山区中津川一〇二五
- 井上書店 左京区中津川町一〇二五
- キクオ書店 中京区河原町通三條上ル
- 其田書店 中京区河原町通三條上ル
- 沢田書店 上京区丸太町出川上ル
- 三密堂書店 下京区寺町通御仏光寺
- シルヴァン書房 下京区光寺町通東院丸
- 大善書堂 上京区海部今出川上ル
- 大岡書堂 中京区寺町通御仏光寺
- 竹岡書店 左京区銀閣寺通ハズ陣所
- 谷方書店 下京区七条通堀川角
- 東山書店 北区小山下内町御所
- 外山書店 左京区北田川久保町御所
- 萩屋書店 上京区丸太町通御前下ル
- 福田屋書店 左京区中津川町御所
- 藤井政堂 下京区寺町通御仏光寺
- 藤原北御所書房 中京区河原町通御仏光寺
- 文藻堂 中京区河原町通御仏光寺
- 八木書店古書部 中京区丸太町通御前
- 山崎書店 伏見区稲佐町通御前
- 臨川書店大阪店 大阪府北區白旗町

「蔵書票」のすすめ

林 哲 夫

昭和五十六年「第五回百万遍古本まつり」に拙作木版画による蔵書票を陳列させてもらったことがありますが、単純な意匠の多色小版画を四、五点並べたところ、思いがけない方の目にとまりました。書誌学者であり、見事な蒐集の浅水文庫で知られる庄司浅水先生は当時「定本庄司浅水著作集」（出版ニューズ社）を世に出しておられる最中で、二百部限定の特装本全十四巻に各巻一人計十四名のアーティストによるオリヂナル蔵書票を付するという興味深いアイデアを実行に移されておられました。古本まつりが縁で幸運にも若輩の私がそのなかの一卷のために蔵書票を制作させていただくこととなったのです。

ここで、蛇足とは思いつつ「蔵書票」なるものについて述べておきます。書票、蔵書票、あるいはエクスリプリス（ex libris）は所蔵者名、銘などを記した紙片であり、巻頭（見返し、本文扉等）に貼付するのを常とします。日本では古くから書物の性質に応じたものとして蔵書印が用いられてきました。西洋の書物はハード・カバーであるという理由から印はあまり



図1 最初期の蔵書票

適せず、多くは票を貼付するという形式をとりました。

西洋における蔵書票の起源は定かではなく、一五世紀イタリア人の考案になるとも、ドイツで始まったとも言われています。現存最古のものはドイツのカルツェンという寺院の蔵書に附されていたもので一五世紀末頃のものであります。一五世紀は西欧における出版の草創期であり、その前半においては木版印刷が盛んに行われました。彫刻銅版画（エンゲレーヴ

イング）という技法が発明されたのは一四三〇年頃ドイツの上部ライオン地方においてであり（目付のものでは一四四六年の年号をもつ原板が最古のもの）腐刻銅版画（エッチング）は一四五〇年

頃ワイレンツェ人トマン・フイエングエラによって偶然発明されました。とりわけ書物の歴史に大きな変革をもたらしたのはヨハン・グーテンベルク（一三九〇—一四六八）による鉛鋳造活字を用いた活版印刷術の発明です。以後出版印刷は飛躍的な発展を遂げました。このような技術革新によって書物が一般に出まるとともに、蔵書票も普及し、最初期の板目木版によるものから、より細密な描写が可能でありその小版画の性格に合致する銅版画による蔵書票が多数作られるようになります。そして紋章と銘文、所有者名、裝飾文様などが主体のものから、次第に絵が主要な役割を果たすようになっていきます。特に一九世紀末アー

ル・ヌーヴォオの裝飾パターンを展開および写真製版による画家の参加（それ以前は版職人の仕事でした）によって図柄は甚だしく多様化し優れた蔵書票が多く生まれました。とりわけフランツ・フォン・バイロス（一八六六—一九二四）は香気に満ち繊細で頹廢的な傑作を数多く残しています。最近あるカタログでパウルクレー（一八七九—一九四〇）による蔵書票の作例を発見しました。それは初期のエッチングで、多分に象徴主義的な作風です。クレーの前世代における蔵書票という表現手段が内容的にも形式的にも文学と深い係りがあり、世紀末の画家た

ちに愛されたことを物語っているように思われました。一方、日本においてはその起源は一五世紀まで遡ると言われますが、一八世紀初め頃の芝増上寺関係の出版物に蔵書票が用いられたことが確認されています。西洋式の蔵書票は明治五年（一八七二年）東京書籍館（現上野図書館の前身）で用いられたものが最初です。明治三十三年一月「明星」紙上でチエロスロバキアの蔵書票画家エミール・オーリックにより、一般に初めて紹介されました。明治三〇年代の末頃には、夏目漱石「漆虚集」に橋口五葉（一八八〇—一九二一）が、北原白秋「邪宗門」に石井栞亭（一八八二—一九五八）がというふうな文学書の見返し画として、アル・ヌーヴォオ風のエクスリプ



図2 さくすりぶりす せんすい

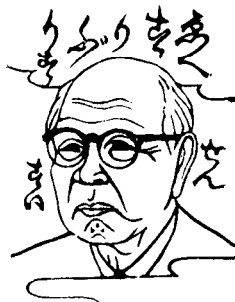


図3 図2の墨摺

ル・ヌーヴォオ風のエクスリプ

りすが添えられ、人々の心をとらえました。その後相次ぐ文学雑誌の創刊、「日本創作版画協会」設立（一九一八）などの影響によって日本の版画は浮世絵から脱脚してゆきます。その過程で主要な版画家のほとんどが、現在世界各国で珍重される多色な蔵書票を生み出したのです。

昭和五十七年七月、庄司浅水著作集第九巻「世界文化史年表」が上梓されました。拙作蔵書票（図2）がその巻頭を汚したわけですが、図柄は庄司先生の肖像です。その頃私は画本や粉本に凝っており、傷みがひどくて売りものにならないような江戸末期、明治期のさし絵入りの木版本を古書店の隅から探し出しては手に入れていました。墨摺（図3）を見ていただければお解りのように、それら画本の安っぽい、あるいは素朴な感じを出そうとしています。しかしとりわけこの「さくすりぶりす せんすい」の形式に影響を与えたのはある古書店で発見した明治十八年の年配のある画橋本です。「京都佛画師森清水」の署名があり一五葉の彩色画、百一葉の白描画が貼り込まれているのです。しかも一点を除くすべてが僧の似絵で、いくつかの画像には金剛寺、龍藏寺などの寺号や僧侶名、衣服の色覚えなどが書き込まれています。

一葉の大きさは七×九センチと小さく、この点でも蔵書票に与え

られた規格と大差のないものでしたので、仕事を進める上で大変有益でした。三ヶ月程かけて五百余枚制作しましたが、技術的な問題がどうしても解決せず満足できないところもありました。墨摺は木口木版ですが最初思っていたよりもかなり太い線しか彫り出せませんでしたし、色版の絵具の調子が最後まで掴めませんでした。そもそも洋画の人間ですから、和紙ドーナツといった基本的な事柄から



図4 ピアズレーの蔵書票 (19世紀末)

始めなければならず、実に多くのことを学びました。それはともかく蔵書票としてはかなり型破りなものになったのではないかと作者

「古書画の表具」

松尾 正雄

近年、美術展の開催は各地各所で花盛りというのに、これが業界となると、典籍・書画・骨董を問わずその品薄傾向は逐年強まり、世の需要の高まりに反して、殊に「良い品」の出現は稀少となり、焦燥は募るばかり、「ある处にはあるのだが」と某邸を横目に車を走らせることも屢々である。

例、本誌に幾分そぐわぬ感はあるが、全く無縁ではない「掛軸」に就て、「良い品」の到来を願いつつ、思いつくまゝを綴ること、した。

掛軸の呼称は様々あるが、なんとなくソフトでゴロが良いせい業者は一般的には「かけもの」と呼び、関西ではこれが「かけもん」

となる。又書画とも呼ぶが、これは類、書帖、巻物、更には色紙、短冊、めくり(又はマクリ)の類まで含むことになり、意味が広汎となる。

例、此書画の世界に踏み込み、その関わりが深まる程に、誰もが否応なしに悩む羽目となるのが、「表具」の問題である。本紙(紙本でも絹本でも本紙という)を生ずる殺すも表具次第、掛物の評価は表具の良否で決るといつても過言ではないことを思ひ知らされる。

表具の良否とは勿論表具価格の高低ではなく飽くまでも本紙に対する調和の良否であり、高価な物だからといって本紙の雰囲気不似合な豪華な表具は折角の作品を殺

ひとり納得している次第です。本をひとつの芸術作品として扱えるとき、内容と同等以上に装丁や蔵書票を含む書物装飾に情熱を注ぐことは当然です。象牙や金銀宝石で飾られたビザンチン・コーチング、あるいは『平家納経』の耽美、華麗の世界からサルバドール・ダリ(一九〇四-)の『ヨハネ黙示録』にいたる病的とまで思える執着力。本は読めさえすればよいと考えている人々にとっては

狂気の沙汰に違いありません。しかし女性が美しくありたいと願うように、はかない生の実像を束の間も捕えようとするこの一種の足掻こそ文化の本質ではないでしょうか。ある雑誌で女性装丁家のティニ・ミウラさんが日本では私家を作ろうとする人がいないと嘆いていらつしやいましたが、日本の愛書家は満ち足りているのか遊び心が欠けているのか、とにかく足掻いているとは思えません。

蔵書票を貼付することの真の意味はここにあると言えましょう。まづ一枚、自分自身の蔵書票をお持ちになることをおすすめします。(香川県生、京都在住、洋画家) 昨年度の百万辺空古本市の古本村ポスターは、氏の作であります。

すことになる。古い掛物でウブ表具(殆んど同時代又は当初の表具から仕直されていないと思はれるもの)が良く調和した物は数寄者には最もよろこばれるが、保存が悪く、湿気、虫喰等で傷みが激しく部分的補修のきかない状態の物、又は未表装のまま、永年保存されてきた一枚物等、新たに表具を必要とする場合は屢々ある。

最近或る地方のお客から聞いた話、平素か、りつけの表具師に、松花堂の手紙の表装を依頼した処並の部類の新装を使用したにも拘らず、筆者が有名人であるからとの理由で、高額な表具代を請求されたとのこと。つまり表具そのものではなく、筆者の知名度の高低が表具代を決定するという奇妙な話は、表具の良否を云々する以前の問題と言はざるを得ない。

様々な表具の中でも、紙も又忘れてはならない素材であり、地味な禅僧物、文人物、軽い俳諧物又は茶掛等に調和し、紙表具ならではの素材な趣がある。又紙の素材によっては洒落に掛物としての風趣も楽しめる。

此様な時、その本紙の時代性に合った古表具が手元に持合せがあれば後は表具師の技術に絶てを委ねることになる訳だが、いつもさううまくは運ばない。数寄者の中にはこの様な場合に備え、常日頃古表具を蒐集し、更には「シケ」(表具の上下に使ふ薄い絹)を好みの色に数種草木染し備えているという話も耳にする。併し古表具がなくとも、時代性のある色調、図柄の新装に洗練された繊細な技術を駆使することにより、本紙に調和させ

又、古くから伝来する秘蔵の名品を、表具が古過ぎると思い、態々高価でキンキラの新装を使わせ、すっかりやりかえた、という話もある。御当人は「これで名品が生き返った」と御満悦である訳だが、

大切なことは表具の依頼者と、表具師との呼吸がピッタリ合い、その本紙の筆者、内容に最も調和した表具形式と裂地が選ばれた時、そこに映りの良い一幅の掛物が生れることになる。

博物館、美術館等の名品展覧は、又表具觀賞の絶好の機会でもあり、その楽しみは、更にふくらむことになる。

願 想 (三)

徒然草を読むとはどういふことか —所謂「二部説」の盲点について—

雙 岡 散 史

徒然草の成立説として所謂「二部説」なるものが行われている。

はやく西尾実博士の提唱にはまゐるものであり本文にあらわれた無常観に「詠歎的なもの」と「自覚的なもの」との質的な相違があり、それらによって執筆の時期が前期と後期とに二分され得ることを論じたものである。この両期の間にはかなり長い糊筆の期間があったことを推定している(安良岡氏説によれば十余年もの長期間だとされ、それ故二部説と呼ばれている。西尾博士説は「徒然草文学の世界」や「日本古典文学大系本・方丈記徒然草」の「解説」に詳論されており学界周知の説だから、こゝにはそれを詳しく紹介するほどの必要はなからう。二部説とは云うもの、西尾氏はもともと橋説を尊重し「徒然草の成立説としては橋説の右に出るものはない」とまで礼讃している。新に問題を提起した二部説はその橋説の一部分に「修正」を加えたものだといふ。

私は橋説に対してはその論証法や結論に甚しくあきたりないものを感じ、その失考を論駁したこと

がある。いま西尾説が提起する「修正」の問題も亦それが果して「修正」の名に値するほどの業績となり得ているかどうかについて、曾ての橋説批判におけると同様甚しく疑惑や不信感をなすを得ない。

西尾説が力説した無常観論議などは一種の観念論であり論拠としては主観的性格が強出す、そういう方法論によって徒然草の具体的な成立時期を論ずることにはそれ自体が客観的な「実証」を重視する学問の立場からして疑念なきを得ない。

西尾説は一見堂々たる論陣を展開してはいる。然し、私には氏説をもつて十分な説得力のある卓説と認めてこれを仰ぐ気持にはなれない。私には私なりの反論があり率直に評すれば西尾説は橋説とは異質な欠点や弱点が目立っているのだ。いやそれは欠点などと云つたのではすまされぬ。もつと抜本的なもの、ことによると説全体

伏が気付かれていないようでは折角の高説も所詮は一つの独断論としか評しようがない。(世には似たような体質者が多いらしく前回批判した林瑞榮氏説にもそれを感ぜたわけである。)

「盲点」の問題はその外見がどれほど些細に見えようとそれは大冊仕立ての学説に対してすらその死命を制する程の結果になりかねない。それが恐ろしいのである。

西尾氏は「徒然草は何度繰返し読んだかわからない」というようなことを書いてはいるが、もしも何らかの先入観の色眼鏡をかけて徒然草を読んでいたとしたら、その読書回数に量的権威などはほとんど問題にはならないのではなからうか。私は西尾説に対してもやはり「徒然草を読むとはどういうことか」を反問せざるを得なくなる。

学者でもない一介の野人に過ぎぬ私ごときが国語学界の最高権威者であり徒然草の研究者としても命令を誣われている西尾博士に対してこゝういふ発言を敢てするのはあるいは潜越の沙汰であると見るむきも多からう。然し真理を探索し眞実を究明する学問の場においては万人平等であり、世俗的声価の有無などは問題にならない。正しいことは誰が云おうが正しいのであり間違つたことを気付かずに主張すればそれが如何に偉い大先生の説であろうが誤説は結局誤説として批判の矢表に立たねばならぬ。そこに学問の厳しきがある。

西尾氏の徒然草二部説が実証不在の印象批評であることは誰の眼にも明らかならずだと思ふのだが、これを正面切って批判の組上にとりあげた学者は少ない。薩でこそこそ云う者は案外多いのではないかと思つたりもする。「学界」などという名の世間も所詮は世間だから建前と本音はちがうと云つてしまえばこれも亦それまでのことかも知れない。然し相手が大先生だからと云つて無批判に阿諛迎合のみ事とすれば研究に進歩はおぼつかない。

西尾博士の弟子に安良岡康作氏が居り、師説を「精緻嚴密の学風」とまで絶讃している。氏の努力の成果は師説の実証を標榜して「徒然草全注釈」の大冊二巻にあらわれており、学界に好評噴々たるものがある。それ故これを引用してものを書く尻馬乗りの学者の数は実に多い。己の頭によつてはものを考える習性がなく又その努力をする意志もないという連中を「亜流」といふのであろう。亜流は何かの権威にしがみついででなければものを考えたり書いたり出来ぬ。云わば烏合の衆であり何か気にくわない論説に対してはその是非を考へるゆとりもなく衆をたのんで感情的な雑言を吐き散らしたりもする。

私は徒然草という古典作品を素材として学者という名の種族の生態を考へて見るのも面白からうと思つている。特に安良岡氏の著者は「願想」に好個の資料を供するものとしてその利用価値は大きなものがある。果して「徒然草全注釈」は師説の権威を磐石の上に確立し得たかどうか。西尾説の独断的性格は安良岡氏の力量に実証されたかどうか。問題の争点は恐らく多岐多端な種々相にあらわれるに相違ない。氏から論争を挑まれた私は遺憾ながら安良岡氏の二部説実証に対しても西尾説に対すると同様「徒然草を読むとはどういうことか」という反問を繰り返さざるを得ない。まず私説の論拠となる問題点を徒然草の本文の中から摘出してこゝう。文段全体を掲出すればよいのだが紙幅の都合でそれも出来かねる。読者はこれを機に是非本文をもう一度お読みいただければ幸甚。

第一部(安良岡説によれば序段から第三十二段まで執筆時期は文保三年元応元年と限定する)

このごろの歌は、一ふしをかしく言ひかなへたりと見ゆるはあれど、ふるき歌どものやうに、いかにや、言葉の外に、あはれにけしきおぼゆるはなし。(第十四段)

なき人の来る夜とて魂祭るわざ

は、このころ、都にはなきを、あつまのかたには、なほする事にありしこそあはれなりしか。

(第十九段)

何事も、古き世のみぞ慕はしき今様はむげにいやくこそなり行くめれ。(中略)今様の人は「もてあげよ」、「かきあげよ」といふ。(第二十二段)

正和のころ南門は焼けぬ(第二十五段)

今の世の事繁きにまぎれて、院には参る人もなきぞさびしげなる。(第二十七段)

このころある人の文だに、久しくなりて、いかなるをり、いつの年なりけんと思ふは、あはれなるぞかし。(第二十九段)

第二部(安良岡説は橋説に準拠し「元弘動乱の前夜」元徳二年から翌元弘元年にかけて執筆とする)

応長のころ、伊勢の国より、女の鬼になりたるをみてのぼりたりといふ事ありて、そのころ二十日はかり……そのころ、東山より、安居院の辺へまかり侍りしに……そのころおしなべて、二三日人のわづらふ事侍りしをぞ……(第五十段)

このころの冠は、昔よりは、はるかに高くなりたるなり。(第六十五段)

元応の清書堂の御遊に第七十段世の中に、そのころ、人のもてあ

つかひぐさに言ひあへる事……(第七十七段)

今様のことどもの、珍しきを、いひひろめもてなすこそ、またうけらぬ。(第七十八段)

(第八十六段)

赤舌日といふ事、陰陽道には沙汰なき事なり。昔の人これを忌まず。このころ、何者の言ひ出でて、忌みはじめけるにか。(第九十一段)

ぼろぼろといふもの昔はなかりけるにや。近き世に……(第一百五段)

このころは、深く寒じ、才覚をあらはさんとしたるやうに聞ゆる、いとむつかし。(第一百六段)今の世には、これをもちて世を治むる事、やうやうおろかなるに似たり。(第一百二十二段)

八重桜は、奈良の都にのみありけるを、このころぞ、世に多くなり侍るなる。(第一百三十九段)この事絶えて後、今の世には、封をつくることになりにけり。(第一百三十三段)

これはこのころやうの事なり。いとにくし。(第二百八段)その世にはかくこそ侍りしか。(第二百十五段)

建治・弘安のころは(中略)このころは、つけもの、年を送りて過差ことのほかになりて……(第二百二十一)

かの生佛が生れつきの声を、今

の琵琶法師は学びたるなり。(第二百二十六段)

「この比」「その比」の相對語、「今の世」「その世」の相對語が何を示唆するか考えて見たい。これらの語とは表記を些か異にするが類縁を強く示唆して、併せて「この比」の語も抽出し、併せて「この比」

「その比」を含む文段の中に表記された年号」等も列挙した。年号は重大な問題であり二部説にはやはり致命的欠陥を示唆する。

右二十二文段は二部説に所謂第一部第二部に共通してあらわれ然も徒然草全篇の随所に散見している。徒然草は一部とまとめられた文学作品であることは今更云うまでもない。そうした作品の性格を前提として以上の諸文段に有機的関連性をもたせながら考察すればそこらどういふ結果が読みとれることになろうか。

これに些か解説いたしたものをつければ次のようになろう。「この比」(●14・19 29 65 91 116 139 208 221の九文段●印は所謂二部説の第一部である以下同じ)や「今の世」(●27 123 203)は勿論兼好が徒然草を書いていた当時の時勢や世相を自覚していることに相違ない。「今様」(●22 275)も同質の表現と認め得るであろう。私にはこれら同語が十余年もの距りを以て書かれたことにならぬと、不自然な一種の違和感をぬぐい切れない。「十年一昔」

というが十年前の「この比」が執筆当時の「この比」であるはずはないからだ。時代の流れは絶えず変化して行くものだ。況やその変化に對し人一倍鋭敏な感覚を働かせ「無常変易」を強調したり、時には「寸陰」の消滅にまで神経を尖らせ「生住異滅のうつりかはるまことの大事はたけき川のみなぎり流るるが如し」と浩歎を發する。それが兼好の人間像の特徴ではなかつたか。それを考慮すれば安良岡説が指摘した十余年の間隔を以て同一の語が何ら表現に限定や変化を加えられることなしに同時期的「この比」を以て表現されているのはどう考えても不自然だ。

「この比」「今の世」「今様」に相對性を自覚して記された「その比」(50 77)、「その世」(215)という両語もそれらは「この比」を明確に自覚すればこそその「その比」であり、それは「この比」と書いた執筆時点の現実を凝視し批判を力説せんがための「その比」であり「その世」であるに相違ない。徒然草にはこれらの用語が全巻を通して前後の文段に交錯的にあらわれており一見難然たる觀を呈しては居るが、それは徒然草が「隨筆文学」の特質を自由に發揮した所以であり序段に断わられたように「そこはかとなく書いた執筆態度によるものと理解されてよからう。

以上「この比」「その比」の相對語を中心として類同の表記や年

号が示唆する問題性を指摘した。この指摘は徒然草の成立を考える者には極めて重要な問題であるに拘らず、誰説にないこれに触れた学者は誰もいない。

然もこれは徒然草の作品自体が内部微証として明確にその成立事態の一端を示唆している問題でもある。日本人なら日常の言語生活で所謂「こそあと」の法則を誤る者はいないはずだ。然るに西尾・安良岡両氏は徒然草の成立を論じてこの日本語法の鉄則を完全に無視している。二部説というのはこの無視の上に捏造された屁理窟でしかないと評すれば酷評となるであらうか。「単なる思付き」を「洞察」に衣更えするお手並みは一応お見事であったが、研究に名を借りて奇矯を弄び古典の理解を惑乱するような業績が果して眞の学者のやることか疑念なきを得ない。

終りにお断わりしておきたいのは私説の徒然草成立論考は昭和三十四年八月を以て第一稿とする。今から二十四年も昔のことだが、その時の結論は成立時を「建武元年の間」とした。そして今もそれは変つていない。唯その期間は更に限定を縮め「建武二年秋から翌延元元年秋」にかけ約一カ年の日数を以て略「逐段的に」継続執筆されたものと推定するに至っている。個々の論証は別考に譲らねばならぬが、私は徒然草という作品

(次頁下段へ)

京都古書研究会会員

店と人

シリーズ

第三回「四条寺町以南」伏見まで

「好評の古書研究会会員1店と人」シリーズ第二回は、四条寺町より南、伏見までの会員をたずねました。

三密堂書店

森下正三郎(49才)

電気製品街で有名な四条寺町を下った東側に三密堂書店があります。若者が多い大変にぎやかな場所です。

このお店の顔といつてよいものの一つに銅で造られた立派な看板がまず目につきます。よく考えると、古書店には変わった屋号のお店が多いのですが、ここの三密堂書店もその一つ、非常に深い意味があるそうです。店内に入ると



鴛鴦夫婦の三密さん

最近購入された、電動裁断機ではない。ただ本の修理、再生の毎日だそう、日に二、三冊しか修理できないと無念そうにおっしゃっておられました。なるほど本を愛する心がこのような形で表わ

右手に仏教・神道・密教(屋号の由来に關係がある?)などの宗教關係が並んでいます。

先代は、藤井文政堂より独立されたそう、なるほど仏教書は充実しております。先代の後を継いで出版物「地藏菩薩の研究」は、大変有名。

今、特に力を入れておられるもの一つが易学書、この分野に力を入れて扱われる古書店はまだま

だ少ないように思われます。左手の棚には、一般大衆受けの安くておもしろい本が豊富に所せ

ます。お店二階には、なにやら作業場らしきものがあるそうです。最近購入された、電動裁断機でい

ただ本の修理、再生の毎日だそう、日に二、三冊しか修理できないと無念

そうにおっしゃっておられました。なるほど本を愛する心がこのような形で表わ

このご主人は、元水泳部、体格のよいスポーツ万能型。それに加えて将棋はプロ並みの腕の持ち主で業界では右に出る者がいないと定評です。長年のキャリアと人徳で、古書研では、大政的存在の森下氏です。営業時間 午前9時30分より午後8時30分。定休は第三水曜日です。

是非一度、立ち寄られて修理され美しく立派に変わった本を、ごらん下さいとのことでした。

藤井文政堂 藤井敦(41才)

寺町通りを下り河原町通りを越え五条通りまで(ここで寺町通り)と河原町通りは交差しております。藤井文政堂があります。

江戸文政年間開業、七代目を受け継いだ藤井敦氏は、父茂氏と共にのれんを守っておられます。

以外に新しい店構で入口はアルミサッシ。中に入るとまず目につくのが頼山陽書の古木ノ桶の看板です。ゆつ

たりした空間にきれいに本が並べであり、主に仏教書を中心に最近

は古文書・軸物類なども扱っておられ真言宗各派の高僧たちの墨跡やお経本などが一種独特の落ち着きと風格をただよわせております。

最近、出版に特に力を入れてお



頼山陽の書 山城屋の前で藤井夫妻

(前頁より) はあくまで「元弘勤乱後」の成立であることを頑固なまでに主張する者である。従って「勤乱前後」の成立を結論とする橋説や二部説は日本人の正常なる言語感覚を以てしては僻見の甚しきものと断ぜざるを得ない。研究の主流を確保し続けている該説に対してはあまりにも多く疑問が続出するのだ。

られ、出版、新刊、古書などお寺や仏教関係団体の要求で時代々々、そのウエイトが変化しているとの事、この点でも、このお店の歴史の感じさせるものがあります。

主人は探険気質があります。何でも見てやろうと、毎年インド・パキスタンなど各地を旅されるという。特に仏教の原点を見つめ肌で触れることを目的とされているそうです。今後出版や古書の販売に大い

に生かされてくるであろうと大いに期待を持っていい点であると思

います。誠実でもの静かな主人の口調には、内に秘めた、バイタリ

何れが是非かは大方の御批判にまたねばならぬがとまれ本稿に於ては二部説の論者が自説主張の前提として避けては通れないはずの問題が何ら触れられずに恣意を展開しているのを甚だ遺憾とし、その矛盾を敢て「盲点」と指摘する

所以である。(十二月十四日稿)

谷書店 谷 隆天(33才) 堀川七条 西本願寺の斜め向いに谷書店があります。

自働車の喧嘩と京都らしい西本願近辺の簡素な景観とがミックス(?)する、今の京都の姿の一面を現わす場所のような感、まず目に付くのが店頭の均一台

このような本の中から何かいい本を見つめる。(目的がないのがまたいい)思いがけない本を見つけた時の喜びといったら喋えようがないのである。

右の入口から入るとほとんど仏教書です。新刊書らしい面構え(八割位が新刊書とのこと)古書店の

営業時間 午前9時30分より午後6時まで定休日曜日です。

営業時間 午前9時30分より午後6時まで定休日曜日です。

営業時間 午前9時30分より午後6時まで定休日曜日です。



笑顔いっぱいのは谷氏と真由美ちゃん
 棚の新刊書というのは、美しきさの
 違いというか、特に目に付くよう
 です。
 今の私書界は、復刻や新刊が多く
 出版され古書の必要性がかなり
 薄いような感じがします。ぐるりと
 回って東側の棚には、一般書や
 専門書の古書があり、じつと見入
 る学生さんの姿が見受けられまし
 た。
 主人は、丁度お客さんに仏教書
 に関する何やらアドバイスをされ
 ておられ、なる程、こういった光
 景というものは、古書店、特に専
 門を持つ書店の持ち味の一つだと
 感心、谷氏は、専門店化に増々努
 力をされるそうで、それと平行し
 て古典籍も扱ってゆきたいとのこと
 氏は二代目だそうですが、先代が
 亡くなられた関係で、若干18才の若
 さで後を継ぎ、市場に出入り、父程
 の年の猛者と席を共にし、本を買
 っておられたとの事、そんな努力
 と苦労が生かされ大きく飛躍しそ
 うで楽しみな書店です。
 結婚二年半のまだまだあつあつ
 新婚さん、一才半の真由美ちゃん
 と奥さんの三人算しで大変な子煩
 悩！
 赤ちゃんことばと私書と何やら本
 当にはほえましく思える谷氏です。
 (三代目男子誕生はまだかな?)
 営業時間は午前10時から午後7
 時まで、定休日は、日・祝日です。
 今、出版を企画・検討中とのこと、
 前進・前進の谷書店でした。

シルヴァン書房

岸本征夫(42才)

東洞院を四条からトボトボ下へ
 歩くこと約300m左手にシルヴァン
 書房があります。
 我が書研では唯一横文字の屋号で
 あり、名の現わすように洋書を扱
 っております。2階建の店舗で
 30坪位の広いスペースに洋書がど
 つさりあり、ヨーロッパの書店を
 思わせます。



パートナー西村氏(左)と

入るとすぐに新刊らしい服飾関
 係の雑誌や写真集が目につきます。
 奥左手には、デザイン関係、工芸、
 美術史関係などの大版の書集がゆ
 つたりと展示されています。
 なる程、棚板の広い木棚で大きな
 書集や小さな本が入れています。
 中程には、扉付きの本棚があり、
 高価そうな革装の洋古書が入れて
 あります。古書といってもヨーロッパ

ツパスタイルのこれらの本は、美
 術品としても見られる程の美しさ
 です。
 主に美術洋古書を扱っていわれ
 るようですが、新しいものも多く
 又、お客様の要望にお答えして、
 本の探求に明けられたりし、主
 人の仕入に対する並々なぬ努力
 が伺い知れます。
 直接外国の古書店からも買われ
 りもするそうです。
 十年來のパートナーの西村氏ら
 と共に外交や目録販売などにフル
 回転。
 この春ILAB(国際古書籍連
 盟)の日本支部であるABAJに
 加入され、増々章欲的。(ヨーロッパ
 パでの買付け店でABAJの存在
 を初めて知ったと笑っておられた)
 趣味は、ゴルフを初められて一
 年程だそうですが、はたして実力

はいか程かな?
 営業時間は午前10時より午後8
 時まで、定休日は特に定めず年中
 無休とのこと。
 是非一度御来店、手に取って美
 しい書物を御覧下さいとのことだ
 した。

山崎書店 山崎純夫(28才)

京阪電車伏見稲荷駅より師団街
 道を南へ200m程下ると東側に山崎
 書店がある。少し南には龍谷大学
 の赤い大きな建物が見えます。
 まず目に付くのが入口右手のガ
 ラスケイス、何やら豪華な高そう
 な美術書が、きちんと並べてあり
 ます印象良し! その前に、均一
 本がどつさり掘出し物が発見でき
 そうです。店内に入ると中央に2
 本の本棚と側面、5坪程のスペー
 スにぎつしり本が詰って雑然とし
 ておりびつくり、(30程の棚面が
 あるそうです)、まず、入って左手
 に文庫本等(絶版物が多い)があ
 り、その前に美術書の大版の画や
 図録、書集、奥は、このところ富
 に力を入れておられる、美術関係
 書が整然ととりまいています。絵
 画から工芸、建築に至る数多くの
 書物が目を引きまします。

この方面は、かなり魅力的な面
 々で最近出たこちらの美術書目録
 に掲載された分だそう。
 入って右手には、新しめの一般書
 関係がそして教育書や文学関係書
 が古書らしい面構えをしておりま



事務に多忙な山崎氏

す。
 この御主人こと山崎氏は、享
 年28才で、店が出来てまだ3年程
 だそうですが、やる気満々の若手
 実力派です。(結婚した関係!?)
 より内容と量の充実した目録を
 造りたいと淡々と語られる言葉に
 は、着実な行動力が感じられまし
 た。
 横に座っておられた奥さんの笑顔
 も魅力的な赤マル上昇中の山崎書
 店でした。

営業時間は正午より午後7時半
 まで、定休日は、日曜・祝日
 足を伸ばして稲荷大社参拝とと
 もにお立寄り下さいとの事でした。



予 告

春の大古書展示即売会

5月2日(水)⇒5月5日(土)

京都市勧業館1階大フロア

写真版入り
豪華“総合目録”
発行!!
送料200円(切手可)



盛況の第七回 青空古本まつりから

毎年恒例おなじみの、百万遍知恩寺での古本供養並に青空古本市が去年十一月二日〜六日の五日間盛大に開催されました、本堂内での念仏法要、古本供養にはじまり一般参加の大珠数廻し、同研究会新企画の古本村(中村俊一代表)村長の開村式宣言、境内一杯の出店、各店各称の趣向をこらしぎしり積上げ陳列された本の山、張めぐられたテントの中を愛読者皆様方の良書さがし、「古本村朱印集め」、「古本セ、市」、「入札セール」等の行事の数々、いかがでしたでしょうか? さぞ意義のある読書週刊にふさわしい日々を過ごされた事でしょう。日暮の中を電燈がともり閉店を六時にしたのも好評を呼んだ様です。喫茶休憩喫茶コーナーも用意しました。連日好天に恵まれ各地及び市内の方々多数の御来店有難く、紙面を仮りまして厚く御礼申し上げます。毎々お客様より戴いておりますアンケートにより次回は高層充実した催にしたいと会員一同考え努力致す決心です、御期待下さい。

- 「百万遍古本村」村内設置案内(一例)
- 村役場 古本よろず相談(本部) 探求書、発送コーナー
- 古本供養(本堂前参詣所)
- 入札セール 全集、辞典、双書



ドキドキ、ワクワクいくら位?
(入札コーナー)

昨年十一月の古本まつりには古本供養に各地から貴重な本を多数寄贈賜りました。紙面をおかり致し御礼申し上げます。

- 寄贈者氏名
- 左京区・二分野様(金五千円)
- 松戸市・石井様、枚方市・中野様
- 生駒市・山田様、綾部市・近藤様
- 鳥取市・服部様、山科区・山崎様
- 右京区・長田様、中京区・前田様
- その他(順不同)有難うございました。

京都古書研究会一同

- 古本供養御寄贈お礼
- お茶、お休み処 喫茶、喫煙、休憩コーナー(阿弥陀堂前その他)
- 林田由紀夫 京都府知事
- 今川正彦 京都市長
- 塚本幸一 商工会議所会頭

等(本堂前)

- 青空古本市(境内古本村各店)
- 古本セリ市 チャリティー・オークション(釣鐘堂前)
- 均一コーナー 掘り出し格安(釈迦堂前)

集印帖のこと

青空古本まつりの新しい趣向としてテント村と集印帖を企画し試みましたが、集印帖は5店舗、10店舗、20店舗集印の3種類を定めて金券と交換しようという設定で行ないました。村役場にお寄せ戴いた集印帖は各々、一八七枚、三八枚、四枚で計二九枚になりました。中でも20店舗全てお廻り戴きました伊勢市の田畑恭司様、姫路市の池側厚子様、左京区の杉浦雅子様、明石市の今井豊様の四名様は相当な古本のファンとお見受け致しました。そこで、青空古本まつりの印象や今後の課題、そして探求書の苦勞話等をお聞き致しました。今井様は次の様に述べておられました。

「さわやかな印象を受けました。ただ最後の日に村役場を閉めるのが早すぎるのではないだろうか。」「少しでも多くの本を見たい。それから各古本店で、その専門があるのは知っているのですが、その特徴があまり出でない様な気がしました。」「個人的な好みで云々と、句集、仏教書、それに古い雑誌とか、教科書等ですね。」「暇さえあれば、全国の古本店を歩いているのですが地域によって本に特色があるので面白い事だと思います。原文ノママ卒直な御意見有難うございました。この集印帖の試みも皆様の御

協力で上々の成果を得まして、古書研メンバー一同、大変有意義であったと感じております。今後も古本ファンの方々との交流を積極的に深めて行きたいものと考えておりますので、御意見、御感想をお寄せ下さい。

編集後記

○新年明けましておめでとうござります。本年も古書研究会一同よろしく願いたします。
○当23号編集にあたり、御寄稿戴きましたクリフトン・カーフ氏をはじめ、諸先生方に厚く御礼申し上げます。
○昭和59年を迎え若さと行動力の我古書研究会は、五月の勧業館の大古書展示即売会に向け動き出しております。千支のねずみにもまけない機敏さで開催に向けもう頑張りです。お楽しみに!
○昨年は、雑誌(?)フォーカスが大変な売れ行きだったそうですが、往來も一五〇円です...各号の編集担当頑張ろう。

今回の編集者、山崎・藤井・森下・谷・岸本でした。御意見などありましたらお寄せ下さい。

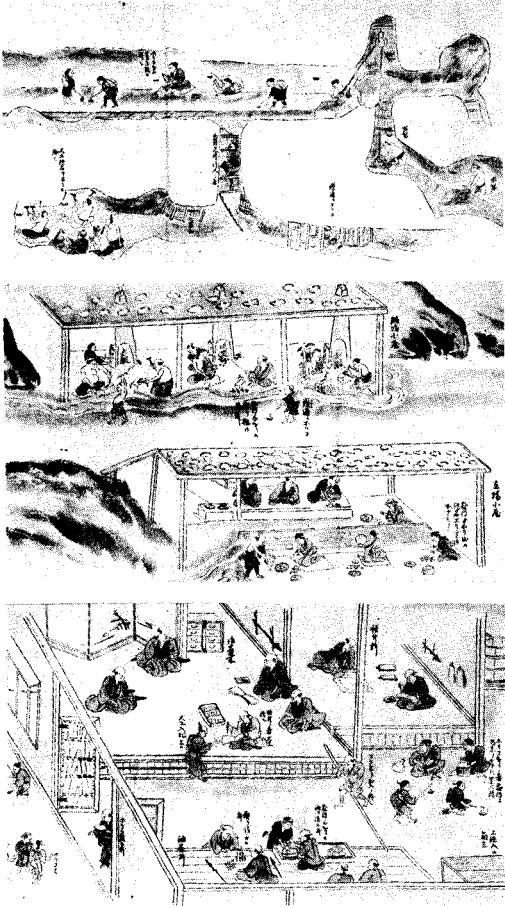
次号予定
「京古本や往來」第二十四号は五十九年四月十五日予定。同時に、豪華総合目録発行

キクオ書店

電話(〇七五)二三一七六三四
振替 京都 八一七六四〇

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

31	近代俳優術 上下 千田是也 二冊	昭24	三、五〇〇
30	制作とシナリオ創作 ロースン 岩波	昭34	四、五〇〇
29	演出者の手記 小山内薫 初版 函入	昭16	五、八〇〇
28	新派 百年への前進 年表付	昭53	八、〇〇〇
27	築地小劇場史 水品春樹 初版 函入	昭6	三、〇〇〇
26	築地演劇論 久保菜 平凡社	昭23	三、〇〇〇
25	演劇論叢(上巻) 小山内薫 歌舞伎出版部	昭3	六、五〇〇
24	演劇論叢 小宮豊隆 聖文閣	昭12	五、八〇〇
23	劇場壁談 畑耕一 奎連社	昭13	一、二〇〇
22	劇談抄 石割松太郎 新日本図書	昭19	一、五〇〇
21	芝居天国 井上甚之助 限定本 函	昭37	一、八〇〇
20	観劇半世紀 三宅周太郎 和敬書店	昭23	一、八〇〇
19	新歌舞伎の筋道 加賀山直三 木耳社	昭42	二、五〇〇
18	歌舞伎思出話 穂積重遠 大河内書房	昭23	二、〇〇〇
17	竹本小土佐の芸術と入内野三恵 限定版	昭49	二、五〇〇
16	劇団五十年―わたしの前進座史 中村航石 函門	昭55	二、五〇〇
15	自伝やつぱり役者 中村勘三郎 文芸春秋	昭51	一、六〇〇
14	役者の子は役者 尾上松緑 日本経済新聞社	昭51	一、三〇〇
13	松助芸談 舞台八十年 邦枝完二	昭3	三、八〇〇
12	七世 市川團藏 市川九蔵 函書刊行会	昭17	三、八〇〇
11	宮島舞伎年代記 薄田太郎 薄田純一郎	昭50	三、八〇〇
10	歌舞伎面證史話 坪内雄蔵 東京堂	昭6	八、〇〇〇
9	歌舞伎の型 加賀山直三 創元社	昭32	七、〇〇〇
8	歌舞伎概論 飯塚友一郎(函無)	昭3	二、〇〇〇
7	芸能と娯楽 日本民俗学大系 平凡社	昭33	三、五〇〇
6	芸能辞典 演劇博物館編 東京堂	昭28	二、八〇〇
5	明治の演劇 岡本綺堂 大東名著社	昭17	一、五〇〇
4	明治文化史(音楽演劇編) 洋々社	昭29	三、八〇〇
3	近世演劇の研究 高野正巳 東京堂	昭16	四、八〇〇
2	日本演劇図録 河竹繁俊 朝日新聞社	昭31	六、〇〇〇
1	日本演劇の研究 第二 高野辰之 二冊	大15	一、八〇〇
32	(英)パントマイム演技論 C・オウバートN・Y刊	昭2	四、〇〇〇
33	舞台装置の研究 伊藤嘉潮 小山書店	昭16	六、五〇〇
34	勤労演劇舞台装置 橋本欣三 健文社	昭19	四、〇〇〇
35	舞台美術を考える 織田晋也 日本放送出版	昭52	三、〇〇〇
36	舞台美術の実際 根岸正晃他 美術出版社	昭53	一、六〇〇
37	宝塚歌劇五十年史 宝塚歌劇団 二冊 函入	昭39	八、五〇〇
38	モスクワ芸術座の回想 ダンチェンコ 水ぬれ	昭14	二、〇〇〇
39	決定版 日本中が私の劇場 真山美保 有紀書房	昭36	一、二〇〇
40	日本歴史文化史料集成(八) 寄席見世物 二書房	昭51	一、六〇〇
41	紙芝居昭和史 加太こうじ 立風書房	昭46	一、八〇〇
42	紙芝居かみしばい(月刊絵本別冊) ずばる書房	昭53	九、〇〇
43	日本舞踊流派細見 山浦慎吉 新芸能新聞社 函	昭45	六、〇〇〇
44	日本舞踊大系花柳流 邦楽と舞踊出版部	昭40	三、〇〇〇
45	写真 京舞妓十二月 吉川親方編	昭49	三、八〇〇
46	児童舞踊傑作集 島田豊 コドモノクニ	昭10	一、五〇〇
47	(英)古典ギリシヤ舞踊研究 エマニエルN・Y	一九六〇	三、〇〇〇
48	(英)インド古典舞踊 コサリ N・D刊	一九六〇	三、〇〇〇
49	日本音楽概論 伊庭孝	昭3	三、〇〇〇
50	日本音楽の歴史 吉川英史 創元社	昭40	七、五〇〇
51	日本の音楽 田辺尚雄 文化研究社	昭33	六、五〇〇
52	音楽精史(正統) 田辺尚雄 二冊	昭28	四、〇〇〇
53	上田流史(尺八) 高松右平 上田流家元	大11	二、〇〇〇
54	小唄研究 湯朝竹山人 アルス	大15	七、〇〇〇
55	支那民謡とその国民性 七理重恵	大15	三、〇〇〇
56	民謡の研究と鑑賞 松村又一編 東北書院	昭8	七、五〇〇
57	郷土の民謡 松川二郎 巧人社	昭10	六、〇〇〇
58	わらべ唄風土記 藤沢衛彦 東明堂	昭9	六、〇〇〇
59	日本民謡の流 藤沢衛彦 東明堂	昭42	四、五〇〇
60	邦洋楽変遷史 三浦俊三郎 日東書院	昭36	一、二〇〇
61	本邦洋楽変遷史 三浦俊三郎 日東書院	昭6	一、二〇〇
62	演歌の明治大正史 浦田知道(岩波新書)	昭36	一、二〇〇
63	(英)音楽・音楽家百科事典 チヤムプリン	一九六〇	六、〇〇〇
64	西洋音楽物語 太田黒元雄 初版 第一書房	昭7	二、〇〇〇
65	現代音楽概論 太田黒元雄 初版 第一書房	昭5	二、〇〇〇
66	ベートーヴェン以後の交響楽	大15	三、〇〇〇
67	音楽読本 山田耕作 初版・函 日評	昭10	二、〇〇〇
68	レコードによる音楽の常識 桂近乎 函	昭15	一、二〇〇
69	(英)インド音楽入門 シラリ 大判 N・D刊	元七	七、八〇〇
70	蓄音器物語 ステレオサウンド編	昭52	三、八〇〇
71	映画年鑑 一九五一年・五二年版時事通信社	昭26	各三、〇〇〇
72	映画社会史 北川鉄夫 (文庫判)	昭22	二、〇〇〇
73	世界映画史 岩崎純一 白楊社	昭26	二、八〇〇
74	日本映画史 第一巻 田中純一郎 齊藤書店	昭23	二、〇〇〇
75	映画製作論 ブヨシレク 映画評論社	昭13	四、五〇〇
76	映画監督論 フヨシレク 映画評論社	昭12	四、五〇〇
77	映画監督と映画脚本論 ブドリフキン 往来社	昭5	四、〇〇〇
78	シナリオ方法論 野田高梧限定背痛 往来社	昭23	四、〇〇〇
79	映画撮影技術便覧(昭和18年版) 映画出版社	昭18	一、八〇〇
80	映画の経済学 柴田芳男 映画界研究所	昭29	二、〇〇〇
81	アメリカ映画製作者論 垂水書房	昭40	一、八〇〇
82	映画界365日 戸山三平 東京通信社	昭53	一、五〇〇
83	京都労映(結成二周年記念号) 騰写刷16頁	昭27	一、八〇〇
84	一九五二組合ハンドブック 松竹労働組合 23頁・仮	昭26	八、〇〇〇
85	日本映画の父(マキノ省三伝) 桑野桃華編	昭24	六、〇〇〇
86	マキノ光雄 北川鉄夫 著者献辞入	昭33	一、三〇〇
87	わが生涯のかげやける日 新藤兼人 著者献辞入	昭23	三、〇〇〇
88	シナリオ 源氏物語 新藤兼人 著者献辞入	昭26	一、八〇〇
89	太陽とカチンコ 櫻島影日記 新藤兼人 著者献辞入	昭35	三、五〇〇
90	山上伊太郎のシナリオ マキノ雅弘 稲垣浩編	昭51	三、〇〇〇
91	芸苑秘録 水のながれ 桑野桃華	昭9	五、〇〇〇
92	パリの銭湯 小澤栄太郎 著者署名入	昭34	一、八〇〇
93	あの遠い日の映画への旅 高林陽一 キネマ旬報社	昭53	一、二〇〇
94	君は時代映画を見たか 佐藤忠男 じゃこめて出版	昭52	一、四〇〇
95	ソヴェト映画史(一九三七―一九五〇)	昭27	二、八〇〇
96	これがソヴェト映画だ 尾瀬敬正 関書房	昭24	二、〇〇〇
97	(英)映画の監督たち シーケル N・Y刊	一九五	三、五〇〇
98	(英)映画の開拓者セリグスの監督達 メイヤー	一九五	三、〇〇〇
99	(英)映画の開拓者セリグスの監督達 メイヤー	一九六	五、〇〇〇
100	(英)解西部劇映画史 エバソンN・Y刊	一九六	四、五〇〇
101	(英)西部劇映画 マックレー他	一九五	四、八〇〇
102	(英)名シリーズ劇映画パリスエ	一九七	四、三〇〇
103	(英)名優たち シーケル N・Y刊	一九五	三、五〇〇
104	(英)スラップスティック映画の女優たち パリスエ	一九五	三、八〇〇
105	(英)浴室の中の名優たち スカグニツ	一九五	三、八〇〇
106	(英)デイズニ映画 マルティン N・Y刊	一九五	三、八〇〇
107	(英)スリラー映画 ハモンド N・Y刊	一九五	三、〇〇〇



佐渡金山鑛石堀出役割之図 江戸後期写
長巻彩色25紙 500,000円

寸心西田幾多郎扇幅 微風吹幽松

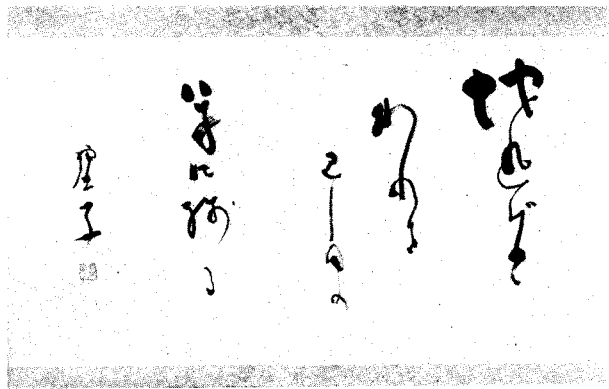
高山、岩男箱書

一幅 七〇〇,〇〇〇円

松吹岩男
志画

営業時間 午前十一時～午後八時 定休日 毎週水曜日

〒530 大阪市北区芝田一丁目六番二号
阪急古書のまち
(株)臨川書店 大阪店
電話(〇六)三三四一三〇〇
振替 京都 八〇〇〇番



高浜虚子句幅 蛇逃げて……

一幅 280,000円

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一
 法律 経済思想 竹岡書店
 電話(〇七五) 七六一一四五五四
 振替 京都 五一四二六一二

27	フォトバイオロジ	吉田、鈴木他	昭57	三、六〇〇
26	マスベクトロメトリ	松田久	昭58	四、八〇〇
25	ポリマー廃棄物の処理・再利用技術	同会	昭56	五、七〇〇
24	プラスチック加工の基礎	高分子学会編	昭57	九、〇〇〇
23	高分子溶液	高分子学会編 共立出版	昭57	九、〇〇〇
22	触媒化学	慶伊富長編	昭56	四、六〇〇
21	安定同位体のラジオサイエンスへの応用	麻生、池川、宮崎	昭56	六、三〇〇
20	物質の電気分極と磁性	ブレック、小谷他	昭40	四、〇〇〇
19	岩波講座 現代化学	全17冊 昭56	昭56	四、〇〇〇
18	新実験化学講座	丸善	昭50	一五、〇〇〇
17	化学辞典	志田正二他	昭56	九、〇〇〇
16	画像電子ハンドブック	画像電子学会編	昭54	七、〇〇〇
15	画像電子ハンドブック	銀塩写真編 学会編	昭57	八、〇〇〇
14	写真工学の基礎	非銀塩写真編 学会編	昭57	七、六〇〇
13	量子効果ハンドブック	武者、末松他	昭58	六、四〇〇
12	固体物理	デッカー、橋口、神山	昭57	五、〇〇〇
11	理論物理学	カンパニエフ、山内恭彦他	昭50	四、五〇〇
10	基礎物理学ハンドブック	チェトラフ他	昭50	四、五〇〇
9	応用有限要素解析	川井忠彦監訳	昭55	二、五〇〇
8	マイクログロブセッサと論理設計	奥川・井上	昭57	四、八〇〇
7	代数学講義	改訂新版 高木貞治	昭49	三、〇〇〇
6	確率・統計ハンドブック	パリーントン、メイ著 林・脇本訳	昭56	三、五〇〇
5	自然科学特集 今回送料サービス		昭57	四、六〇〇
4	有限要素法ハンドブック	基礎編 鷺津他	昭56	六、六〇〇
3	複素関数論	辻正次	昭53	三、五〇〇
2	計算機の歴史	ゴールドスタイン	昭55	三、六〇〇
1	パスカルからノイマンまで	未包他	昭55	三、六〇〇
28	光生現象の初期過程	同会	昭56	四、七〇〇
29	ラジオアイソトープ	基礎から取扱まで 同会	昭55	三、二〇〇
30	界面活性剤の分析と試験法	北原、早野他	昭57	五、六〇〇
31	精密有機合成実験マニュアル	Therze	昭58	七、六〇〇
32	高分子の構造	高野・小笠原	昭51	四、二〇〇
33	核化学と放射化学	田所宏行	昭55	二、九〇〇
34	有機薬品製造化学	斉藤、柴田他	昭52	三、三〇〇
35	衛生化学	小林立	昭54	三、〇〇〇
36	石油精製技術便覧	第三版 川瀬砂越他	昭56	九、〇〇〇
37	酵素工学	福井・千畑・鈴木	昭50	五、〇〇〇
38	固定化酵素	千畑一郎編	昭50	二、四〇〇
39	有機硫黄化学	反応機構編 大饗 茂	昭57	四、七〇〇
40	生物材料調製法(実験生物学講座)	丸善	昭57	四、〇〇〇
41	植物生物学 I・II	小谷・江下・渡辺他	昭58	三、〇〇〇
42	分子生物学	丸善	昭58	四、〇〇〇
43	分子遺伝学実験法(遺伝学実験法)	共立出版	昭58	四、六〇〇
44	微生物遺伝学実験法(遺伝学実験法)	共立出版	昭57	四、八〇〇
45	人類遺伝学研究法(遺伝学実験法)	共立出版	昭57	四、八〇〇
46	集団・行動遺伝学研究法(遺伝学実験法)	共立出版	昭58	五、四〇〇
47	環境汚染物質の生体への影響	硫化水素	昭57	二、二〇〇
48	生物環境調節ハンドブック	白金族元素 和田他	昭55	二、五〇〇
49	生物環境調節ハンドブック	東大出版会	昭55	六、三〇〇
50	ステント分子遺伝学	上巻 長野訳	昭58	五、六〇〇
51	ヒトの血液型	レリス他・雨宮 第一巻	昭55	五、六〇〇
52	魚類各種遺伝学	キルビチニコフ 第二巻	昭56	六、〇〇〇
53	細菌の性と遺伝	ジャコブ他・高沢他	昭49	五、四〇〇
54	変態の生物学	日本発生物学会編	昭53	三、〇〇〇
55	生物学史展望	井上清恒	昭55	三、八〇〇
56	エナジオプシヨン	Books 喜多他	昭57	四、〇〇〇
57	日本原色アブラムシ図鑑	森津孫四郎	昭58	五、四〇〇
58	さつき野菜図鑑	石田大九郎	昭56	二、〇〇〇
59	原色日本野菜図鑑	保育社	昭57	三、〇〇〇
60	原色果実図鑑	保育社	昭55	二、六〇〇
61	原色薔薇洋蘭図鑑	保育社	昭55	二、七〇〇
62	原色薔薇洋蘭図鑑	保育社	昭55	二、七〇〇
63	原色日本大型甲殻類図鑑	第一巻 保育社	昭57	三、四〇〇
64	原色日本鳥類図鑑	保育社	昭58	三、八〇〇
65	天文学人名辞典(現代天文学講座)	中山編	昭58	三、八〇〇
66	天体軌道論	長谷川一郎	昭58	三、八〇〇
67	オーロラ境界層の気候	斉藤・新田訳	昭56	三、九〇〇
68	太陽惑星環境の物理学	前田恒	昭57	二、八〇〇
69	曲線と直線の宇宙	亀倉雄策	昭58	二、二〇〇
70	セラミックスの科学	柳田博明編著	昭57	二、五〇〇
71	セラミックスの超精密加工	桜井・小泉他	昭58	三、〇〇〇
72	築炉用セラミックス材料(焼結セラミックス)	評論) 素木洋一	昭48	四、七〇〇
73	熱管理技術講義	改訂7版 同委員会	昭55	二、六〇〇
74	コサンダ	金属疲労の解析と応用 横堀・石井他	昭56	三、三〇〇
75	粉粒体計測ハンドブック	日本粉体工業協会	昭56	七、〇〇〇
76	粉体摩耗の対策	橋本建次	昭56	二、〇〇〇
77	パルコーフェン金属塑性加工	戸澤康寿	昭55	三、九〇〇
78	リップマン塑性変形と加工の力学	基礎と工学的応用 阿部・田中他	昭58	五、〇〇〇
79	応用熱力学(機械工学大系)	西川・伊藤	昭58	四、七〇〇
80	ユイザイのためのヒートパイプ応用	池田他	昭56	三、六〇〇
81	建築塗料における高分子ラテックスの応用	室井宗一	昭58	三、〇〇〇
82	センサ工学	森村正直・山崎弘郎編	昭57	六、七〇〇
83	電子技術者のための設計技法	加藤康雄訳	昭56	五、七〇〇
84	英・和・アラビア語 電気用語辞典	飯森他	昭57	二、〇〇〇
85	OHM電気電子用語事典	斉藤成文他監修	昭57	二、〇〇〇
86	プリント回路ハンドブック	クームズ・安達・島田訳	昭56	八、〇〇〇
87	通信トラヒック理論	藤木正也・雁部頼一	昭55	五、六〇〇
88	土木工学のための複素関数論の応用と計算	渡辺昇	昭56	九、〇〇〇
89	鋼製ラーメン橋脚の設計と解説	小松他監	昭54	二、八〇〇
90	橋梁工学(鋼橋編)	森北土木工学全書	昭56	二、四〇〇
91	下水道管渠施工ハンドブック	東京部下	昭56	五、〇〇〇
92	コンクリート構造物の補修ハンドブック	水道研究会編	昭55	五、四〇〇
93	保守検査便覧	日本非破壊検査協会編	昭55	七、五〇〇

606	京都市左京区北白川久保田町64の5	電話(〇七五)七〇一六六二七 振替 京都 九一六三八四	社会科学系 と 外 山 書 店
1	第八回京都市勢一斑	明治四十年刊	同府
2	京都府勢	大14	同府
3	京都府治要覧 大15・昭元	昭3	京都府
4	京都府保健事業協同組合三十年史同組合	昭57	同組合
5	京都労働運動史年表(草案)	昭42	京都府労働経済研究所
6	総評京都地評運動史	昭45	同編纂会
7	京都労働運動史年表	昭45	同編纂会
8	京都府議会歴代議員録	昭36	同事務局
9	大正時代総説・資料・昭和時代総説資料	昭29	京都府警
10	昭和和大札京都府警備記録上下	昭4	京都府
11	昭和和大札京都府記録	昭50	同編纂会
12	京都府警察史1・2巻(2冊)	昭42	京都府
13	政治家のつれづれ草	昭42	前尾繁二郎
14	老舗と家訓	昭45	京都府
15	近世在郷商人の経営史	昭30	足立政男
16	仮題明治以降京都貿易史綱(試稿)	昭33	京都貿易協会
17	京都貿易戦後二十年	昭42	京都貿易協会
18	京都の新興工業	昭8	小林美樹雄
19	京都市風害誌	昭10	京都市役所
20	甲戌暴風水害誌	昭10	京都市役所
21	京都市三大事業誌	昭10	京都市役所
22	道路拡築編(函譜)(表紙患)	昭14	京都市電気局庶務課
23	琵琶湖疏水略誌	昭53	柳原書店
24	宇治川兩岸一覽	昭14	井上五郎
25	日本科学の勝利	昭14	井上五郎
26	京都地方貯金局沿革史	昭30	同局
27	京都建設協同組合史	昭50	同組合
28	京都府旅館業界の実態	昭53	同組合
29	京都の伝統産業	昭27	府立産業能率研究所
30	西陣織物同業組合沿革史	昭37	京都市商工局
31	西陣織物館記	昭14	大槻喬編
32	京都市染織試験場沿革誌	昭35	前田達三
33	京都織物卸市場の概要	昭11	同場
34	西陣織物卸商協会の組合史	昭32	同場
35	西陣織物工業組合の組合史	昭47	同場
36	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭50	同場
37	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭34	同場
38	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭53	同場
39	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭42	同場
40	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
41	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
42	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
43	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
44	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
45	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
46	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
47	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
48	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
49	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
50	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
51	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
52	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
53	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
54	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
55	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
56	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
57	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
58	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
59	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
60	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
61	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
62	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
63	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
64	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
65	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
66	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
67	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
68	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
69	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
70	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
71	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
72	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
73	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
74	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
75	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
76	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
77	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
78	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
79	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
80	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
81	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
82	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
83	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場
84	西陣織物産地間屋協同組合の組合史	昭45	同場

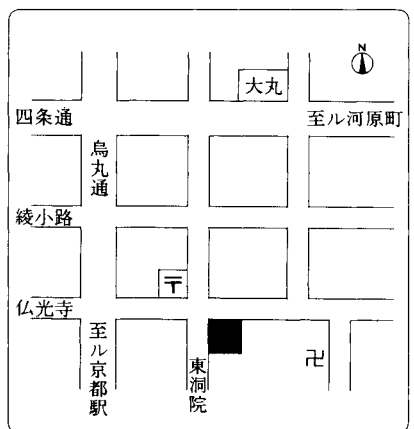
シルヴァン書房

電話(〇七五)三四一七八七三
振替 京都 一七九三三八

千600 京都市下京区仏光寺通東洞院角

- 1 (米) マチス後期作品 石版入 ヴェルヴ 36 37 45,000
- 2 (米) ステンドグラス ホリデイ著 一九七六 九,000
- 3 (米) 英国カメオグラス レイ著 総原色図多 一九八〇 二六,000
- 4 (米) 陶磁器 アップラー著 一九七六 二八,000
- 5 (米) スイスの電器施設 ヘルツォーク著 一九七五 七,500
- 6 (英) 全階級の住居 平面見取図多数ベルクス 一九五五 五,000
- 7 (米) 温室と冬園 コッペルカム著 一九八一 九,000
- 8 (米) 17、18Cのロシア金銀細工 ソロドコフ 一九八一 八,五〇〇
- 9 (米) 聖書「家庭版」 ベルシオン著 一九八二 一六,〇〇〇
- 10 (米) 建築応用極彩装飾模様 オーズレイ石版 一九八二 一五,〇〇〇
- 11 (米) ノブゴラッドイコン画 オイローラ版 一九八二 一五,〇〇〇
- 12 (米) 中世の生活 デロート著 (伊版) 一九七三 三〇,〇〇〇
- 13 (仏) 非現実 A・マルロー著 一九七四 二九,〇〇〇
- 14 (独) P.K.G.プロビレエー 芸術史 17巻新版 一九七四 四〇,〇〇〇
- 15 (独) P.K.G.プロビレエー 芸術史 16巻揃 一九七三 三〇,〇〇〇
- 16 (英) カドラム 芸術誌揃 20冊 創一九五六年 一九八二 四九,〇〇〇
- 17 (米) M・エルンスト 人と作品 A・ブルトン 一九八一 一四,九〇〇
- 18 (米) M・エルンスト 人と作品 J・ラッセル 一九八二 一八,〇〇〇
- 19 (独) M・エルンスト 「怪鳥」 スピース著 一九八二 三〇,〇〇〇
- 20 (独) E・Lキルヒナー コンフェルト著(ス) 一九七二 二四,〇〇〇
- 21 (独) ドキメメンター I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX、X、XI、XII、XIII、XIV、XV、XVI、XVII、XVIII、XIX、XX 2冊 一九八〇 三三,〇〇〇
- 22 (独) ロップス カーン/クライン共著 2冊 一九八〇 三三,〇〇〇
- 23 (独) ロップス オルラン/デュブレイ著 一九八〇 三三,〇〇〇
- 24 (独) セガンチーニ 人と作品 セガンチーニ 一九八〇 三三,〇〇〇
- 25 (英) G・セガンチーニ ビラリ著 一九八〇 二四,〇〇〇
- 26 (米) F・ホドラー 画集 ヒルシュ著 一九八二 一五,〇〇〇
- 27 (伊) L・シニョリ サルミ著 フレスコ 一九八二 九,〇〇〇
- 28 (ス) シヤルダン G・ウィルデスタイン著 一九八二 三六,〇〇〇
- 29 (英) A・Dカスターニョ ホルスタイン著 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 30 (英) A・ステイグリッツと米前衛芸術ホーマー著 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 31 (米) 「切抜帖」(一)〜(六) R・ペンローズ 一九八二 一七,〇〇〇
- 32 (独) タダとシュールリアリズム ルービン著 一九八二 一八,〇〇〇
- 33 (仏) B・ビュツフェ 版画「一」〜「六」 ライム 一九八二 三三,〇〇〇
- 34 (仏) ドラクロワ没後百年記念展 A・マルロ 一九八三 八,〇〇〇
- 35 (仏) ゲインズボロー展 仏国立美術館刊 一九八一 七,〇〇〇
- 36 (英) デューラー 芸術家と素描 ホワイ特著 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 37 (英) ヴルダエン 素描 全4冊 デュルレスト 一九七五 五,〇〇〇
- 38 (独) 芸術と理想郷 H・バウアー著 一九八二 五,〇〇〇
- 39 (独) S・I.G.E.N.V.I.E.V.Eと18C 仏国教会建築 M・ベツェット著 一九八二 一七,〇〇〇
- 40 (仏) シュールとその周辺の総合辞書 ビロ著 一九八二 二九,〇〇〇
- 41 (仏) 裝飾芸術「一」〜「六」 ガイナー著 一九八二 二〇,〇〇〇
- 42 (英) ウィーンの芸術云々 一六六 P・ベルゴ 一九七五 五,〇〇〇
- 43 (独) 古典派からロマン派 一七五〇〜一八三二 F・パームガルト著 一九八〇 四,〇〇〇
- 44 (米) J・ポロツク全集 揃4冊 ヤーリ大 一九七五 五,〇〇〇
- 45 (仏) 20Cの陶器 プレオード著 一九八二 一七,〇〇〇
- 46 (英) 初期中国芸術史 揃4冊 オズワルド 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 47 (米) 西欧彫刻秀品 H・ヒバート 一九八二 九,〇〇〇
- 48 (仏) 北部アルプス ニュの服装と民謡 コロー 一九八二 一五,〇〇〇
- 49 (仏) 日本の絹織物 H・エルンスト 38枚手刷 一九八二 一五,〇〇〇
- 50 (仏) 中国の古織物 H・エルンスト 20枚手刷 一九八二 一五,〇〇〇
- 51 (英) パロツク・ロココの巨匠 エルミタージュ 一九八〇 九,〇〇〇
- 52 (仏) 中国の刺繍 H・E 36色刷ボシヨウ 一九八二 四,〇〇〇
- 53 (米) 猥褻映画図史 一五五〜一七五 テイオン序 一九七六 一八,〇〇〇
- 54 (米) 幻想の歎び 写真集 フォックス 一九七五 五,〇〇〇
- 55 (仏) 新ヌード 写真集 フォックス 一九八一 一八,〇〇〇
- 56 (米) サンジェルマン デブレ M・ロチエ 一九八〇 五,〇〇〇
- 57 (米) エロチックな歳書票 クロンハウゼン 一九七五 五,〇〇〇
- 58 (仏) B・バルドー写真集 S・スレリン 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 59 (仏) 日本のエロチシズム B・スリュ 一九八三 八,〇〇〇
- 60 (仏) 古代ローマ史 デュルレイ著 H.A.C.H.E.T.T.E 一九七九〜八二 全4巻揃 一七五,〇〇〇
- 61 (仏) ヴイクトル ユーゴー作品全集 E・ジラルルA・ボワット社 全19巻揃 一九八二 三〇,〇〇〇
- 62 (独) 組合せ文字 ナグララー著 全5巻揃 一九八二 一〇,〇〇〇
- 63 (仏) 中世と近世フランスの文字、科学、芸術論集 P・ラクローワ著 中世5巻、近世4巻揃 一九八二 二六,〇〇〇
- 64 (米) デイナイト ハブ(エジプトの墳墓) Vol.1〜Vol.7揃 H・日ネルソン著 シカゴ大東洋研編 図版多し 八巻、〇〇〇
- 65 (仏) 服装、兵器、寶石、陶器、用具、道具類

- 66 (仏) ホッテンロス著 石版原色図20図 再製本 九,〇〇〇
- 67 (仏) アールデコ図案 織物と絨氈の為の提案 F・A・セギー画 60図色刷ボシヨウ 一九八〇 二〇,〇〇〇
- 68 (仏) トウルーズ ロートレック作品目録 特装版極美 M・Gドルレック・全六巻 一九七二 四〇,〇〇〇
- 69 (英) サターニングヤ試験 A・マルロー・N.R.F 一九五〇 二五,〇〇〇
- 70 (英) カンディンスキー・人と作品 W・グロマン A.B.R.A.M.S 一九八二 四五,〇〇〇
- 71 (米) 古書カタログ冬号発行 五百点掲載 送料一七〇円



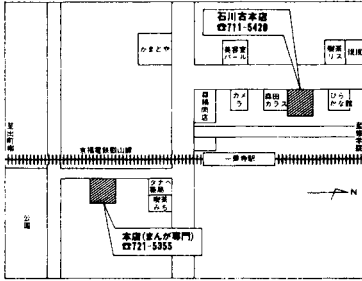
年中無休(正月、盆を除く)
平日・午前10時〜午後8時
祝日・午後1時〜午後7時

「お詫びと訂正」
前号で幣店カタログ発行中と記しておりましたが
実は準備中の誤りでした。予定の遅れで一月下旬に
一九八四年号として発行致しております。悪しから
ず。御了承下さい。多くの皆様は御注文を頂きまし
たが発送が遅れた事をお詫び申し上げます。

石川古本店

本店 〒606
 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12
 TEL075-721-5355

北店 〒606
 京都市左京区一乗寺南大丸町95
 TEL075-771-5429



- ※8月より開店致しました北店は京都関係のコーナーを設けました。又第1月曜日はサービスデー(全商品10%引き)を致して居ります。まずは御来店下さい。
- 1 映画ポスター ミクロの決死圏 三,000
 - 2 映画ポスター キングコング対ゴジラ 三,500
 - 3 映画ポスター キングコングの逆襲 四,500
 - 4 映画ポスター メカゴジラの逆襲 四,500
 - 5 映画ポスター ゴジラ対ガイガン 八,000
 - 6 映画ポスター ゴジラ電撃大作戦 八,000
 - 7 映画ポスター ゴジラ対メカゴジラ 三,500
 - 8 映画ポスター ゴジラ対メカゴジラ 三,500
 - 9 映画ポスター ボーラボーラ 四,500
 - 10 映画ポスター 猿の惑星征服 三,500
 - 11 映画ポスター 新猿の惑星 三,500
 - 12 映画ポスター アトランティス七つの海底都市 一,500
 - 13 映画ポスター 風林火山 二,000
 - 14 映画ポスター キングギョラ対ゴジラ(立用)2枚組 三,000

〒606 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12
石川古本店
 電話(〇七五) 七一一一五四二九
 振替 京都 七一二〇八九

- 32 長塚節全集 揃六冊 揃一巻のみ箱揃 (社会科学編集委員会編) 20冊揃 昭43 一五,000
- 31 現代日本文学大系 揃六冊 筑摩書房 昭42 三三,000
- 30 ニーチェ全集 16冊揃 理想社 昭55 三六,000
- 29 高山樗牛 田淵行男 明文堂 昭34 四,000
- 28 宗教哲学の場と根底 理想社 昭44 三,000
- 27 アドルフ・ヒトラー 1号古類集 一・二冊 石津 昭45 三,800
- 26 御仕置例類集 第一号古類集 一・二冊 みすず 昭16 一,000
- 25 無愛華 九條武子 昭40 一,500
- 24 幻化 梅崎春生 昭41 一,800
- 23 英霊の聲 二島由紀夫 帯箱初版 昭35 一,800
- 22 蒼き狼 井上靖 箱付初版 昭42 一,500
- 21 化石 井上靖 箱付初版 昭44 一,500
- 20 西域物語 井上靖 箱付初版 昭36 一,800
- 19 阿佐ヶ谷日記 外村繁 箱付初版 昭36 一,800
- 18 落日の光景 外村繁 箱付初版 昭36 一,800
- 17 大阪市概観 朝日新聞社 昭17 一,800
- 16 天平の文化上・下 朝日新聞社 昭17 一,800
- 15 南部石仏巡礼 西村貞 成光館蔵 昭8 二,000
- 14 古建築巡礼 奈良及近郊の巻 森谷延雄 昭14 二,000
- 13 西洋美術史 古代家具篇 服部勝吉 大14 二,000
- 12 写真記録 太平洋戦争史上 大判 光文社版 昭27 四,000
- 11 ホッペ写真傑作集 朝日新聞社編 昭2 四,000
- 10 銃後の戦果 写真協会編 昭19 一,000
- 9 報道写真集 海軍兵学校 昭19 一,000
- 8 満州紀行 写真と随想 長谷川伝次郎 昭16 一,500
- 7 アサヒカメラ 四月増大号 昭10 一,000
- 6 写真雑誌カメラ 新年号 昭12 一,000
- 5 ドイツ写真年鑑(独文版) 19・31・32年 各冊 昭12 一,000
- 4 日本写真大サロン 全関西写真連盟 昭2 一,000
- 3 第一回写真サロン 朝日新聞社 昭2 一,000
- 2 国際写真サロン 第一回〜五回 朝日新聞社 昭2 各一,000
- 1 国際写真年鑑(英文版) 凡善刊 1930 25 26 27 28 29 31年 各冊 一,500

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入
 (京都大学前)
井上書店
 電話(〇七五) 七八一一三三五一
 振替 京都 七一二二四五

- 33 大磯随想袋釘安田叔彦 吉田茂 函付 雪華社 昭37 一,000
- 32 マッチ展望第四巻第一号 日本マツチ新聞社 昭46 一,000
- 31 日本の裁判 戒能通孝 法律文化社 昭17 一,000
- 30 ナボレオンの性格 ローズ砂川訳 富士書店 昭32 一,000
- 29 ホルツマン プロローグ市井他訳カバー付 創元社 昭17 一,000
- 28 乃木 ウォシユバン、日黒訳 創元社 昭17 一,000
- 27 偉人伝全集伊藤博文伝 久米正雄 改造社 昭6 一,000
- 26 パルザックの方法 若園清太郎 大観堂 昭44 一,000
- 25 日本文化のふるさと 井上秀雄 桜楓社 昭48 一,000
- 24 南島の古代文化 国分佐々木編 毎日新聞カバ付 昭2 一,000
- 23 日本古典全集 銭幣改遺図録 同刊行会 昭2 一,000
- 22 日本古典全集 本朝度量權衡改上下二冊 同刊行会 昭2 一,000
- 21 日本古典全集 古代数学集上下二冊 同刊行会 昭2 一,000
- 20 八路軍 周、春日訳 三一書房 昭26 一,000
- 19 史論集 ポクローフスキイ吳訳 希望閣 昭23 一,000
- 18 アメリカの大統領ヒラスキ池田訳 日本ブッククラブ 昭23 一,000
- 17 青年首相伊大老の政治と日米外交 矢部寛一 大光社 昭28 一,000
- 16 フラキストン線を超えて 森沢昌輝 河出書房 昭26 一,000
- 15 花びらいかだ 童話集 立原えりか 思沙社 函付 昭47 一,000
- 14 雪むすめ 童話集 立原えりか 思沙社 函付 昭45 一,000
- 13 格子の眼少々破れ 島尾敏雄 全国書房 興付をじ 昭28 一,000
- 12 霧の部落 きたみのる 筑摩書房 初版 昭51 一,000
- 11 雀の卵その他 永井龍男 新沙社 函付 昭16 一,000
- 10 愛と智と 里見諱 実業之日本社 函付 昭47 一,000
- 9 私の大衆文壇史 菅原宏一 青蛙房 函付 昭42 一,000
- 8 千一夜物語 カラー普及版 十冊揃 河出書房 昭48 一,000
- 7 清末における西洋文物の導入と反応 橋本高勝 啓文社 昭48 一,000
- 6 朝鮮通史 柳田国男 進光社 昭31 一,000
- 5 妖談談義 柳田国男 修道社 昭45 一,000
- 4 桜花抄 佐野藤右衛門 誠文堂 函付 昭16 一,000
- 3 近世絵画史 藤岡作太郎 創元社 昭16 一,000
- 2 広重東海道五十三次版画集 伊豆富士見ランド 昭16 一,000
- 1 京都百景 百十四枚 アルバム付 二冊 昭10 一,000

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル
 同志社正門前
沢田書店
 電話(〇七五) 四五一一〇五二三
 振替 京都 一七六四〇〇

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九一三〇七一

33	大日本柔道教典 磯貝一他	昭11	四〇〇〇〇
32	中学公民書 上・下 文部省	昭16	四〇〇〇〇
31	礼儀作法 完(タイトル二部箱み)宇佐美花淡	大4	四〇〇〇〇
30	新撰日本節用 映人 内山正如	明26	一五〇〇〇
29	琴曲唱歌集 寛政版	明8	一五〇〇〇
28	日本地誌略 師範学校編	昭2	四〇〇〇〇
27	最近日本地理教授資料 三省堂編	昭13	四〇〇〇〇
26	山教育 学校管理法 乙竹岩造	昭13	三三〇〇〇
25	やまと小学上・下 明磨	昭13	三三〇〇〇
24	大全早学引簡用集 天保版	昭13	三三〇〇〇
23	教の園 上・下 佐伯有義編	昭24	八〇〇〇〇
22	商業美術教本 上巻 浜田増治	昭9	二〇〇〇〇
21	女子標準図画(一)四和田:造他 検定本	昭8	六〇〇〇〇
20	商業美術教本 上級用 浜田増治	昭11	二〇〇〇〇
19	美術一・二号 京都雅松小学校	昭44	三〇〇〇〇
18	賀茂注進雜記 賀茂別雷神社	昭48	三〇〇〇〇
17	柳池校百年史 京都柳池中学校	昭44	三〇〇〇〇
16	鷹峰百年誌 其百周年記念事業実行委	昭48	二〇〇〇〇
15	高嶺小学校百年誌 其百周年記念法	昭48	二〇〇〇〇
14	山階山階創立百周年記念法	昭48	二〇〇〇〇
13	松ヶ崎百年史 其百周年記念法編集委	昭48	二〇〇〇〇
12	桃蘭校百年史 其百周年記念事業実行委	昭44	二〇〇〇〇
11	乾百年史 其百周年編集委	昭45	三〇〇〇〇
10	小野郷校百年誌	昭45	三〇〇〇〇
9	私たちの歩み 京都教職員組合	昭56	二〇〇〇〇
8	鳳徳五十年史 其記念事業実行委	昭56	二〇〇〇〇
7	工師会誌 中尾信一編	昭10	六〇〇〇〇
6	4会誌 三ノ毛号九冊 京都府立第一中	大7	七五〇〇〇
5	3会誌 二五二冊 神奈川県立第一中校友会	明41	四〇〇〇〇
4	2 校友会雑誌 7号9号四冊 京都府立第一高女	大2	八〇〇〇〇
3	1 学校一覽 神戸市立第三神港商業校	昭13	三〇〇〇〇
34	体操科の理論 吉田章信	大15	八〇〇〇〇
35	ラグビーフットボール 兼子義一	昭2	六〇〇〇〇
36	日本柔道教典一〜五部 工藤三三	昭12	八〇〇〇〇
37	算術大辞典 鉄道研数学会	昭11	六〇〇〇〇
38	商業算術 小野十郎	昭2	八〇〇〇〇
39	学校衛生学 川畑愛義	昭16	七〇〇〇〇
40	小学校保健計画実施要領 試案 文部省	昭25	四〇〇〇〇
41	文章心理学の問題 波多野完治	昭16	五〇〇〇〇
42	修身論 前篇一後篇一、二訳本 文部省	明5	一五〇〇〇
43	職業 中学校用 一、二 文部省	昭26	四〇〇〇〇
44	應用家事教科書 上、下 検定本 大江スミ子	大9	四〇〇〇〇
45	農村婦人教本 滋賀県農会 検定本	昭10	三〇〇〇〇
46	大東商工読本 卷二 検定本 大矢透	明28	三〇〇〇〇
47	おさいく物極意 完 梶山彬	大13	四〇〇〇〇
48	高等小学家事教科書(第一学年児童用)文部省	昭8	各二〇〇〇
49	高等小学家事教科書(第二学年児童用)文部省	昭10	四〇〇〇〇
50	袋物細工の枝折金 山田きよ子	大3	五〇〇〇〇
51	昭和中等修身書卷三、四、五 検定本 小西重直	昭7	八〇〇〇〇
52	女子樂典教科書 音楽教育書出版協	昭13	一五〇〇〇
53	男子音樂教科書 初級二 検定本 小川 郎他編	昭7	三〇〇〇〇
54	普通樂典教本 開成館 検定本	明42	二〇〇〇〇
55	商業雜新図画二 検定本 美育振興会 卷裏表紙欠	昭15	三〇〇〇〇
56	女子実用図画一 検定本 美育振興会	昭13	二〇〇〇〇
57	高女用現代図画四 検定本 図画教育研	大13	二〇〇〇〇
58	女子新制図画卷一 検定本 日本図画手工協会	昭8	二〇〇〇〇
59	女子図画二 検定本 美育振興会	昭5	二〇〇〇〇
60	中学図画一、二 検定本 美育振興会	昭5	二〇〇〇〇
61	商業図画一 検定本 美育振興会	昭7	二〇〇〇〇
62	商業新制図画卷二 橋定本 日本図画手工協会	昭10	二〇〇〇〇
63	中学美育新編一、二 検定本	昭12	四〇〇〇〇
64	新制用器画一卷 検定本 美井富夫他	昭12	二〇〇〇〇
65	中学用器画二 一、二 検定本 美井富夫他	昭24	一五〇〇〇
66	標準女子図画教科書 卷一 検定本	昭14	二〇〇〇〇
67	現代新図法一、二 一、二 図画教育研究会	昭13	四〇〇〇〇
68	新制標準図法二 卷二 指定本 阿部七五三	昭10	二〇〇〇〇
69	女子新定画帖 五学年 男生用 文部省	明43	二〇〇〇〇
70	女子図法教科書 検定本 東京美校錦巷会	大15	三〇〇〇〇
71	尋常小学唱歌 一、二年 文部省	昭10	一五〇〇〇
72	京都の高校教育 京都高校教職員組合	大15	三〇〇〇〇
73	中学国文学史、検定本 弘文館	明35	三〇〇〇〇
74	中学文法 二、三 文部省	昭19	四〇〇〇〇
75	中等文法 文語 文部省	昭26	二〇〇〇〇
76	中等国語 二の1、2、3 文部省	昭24	六〇〇〇〇
77	中等文法 文語 文部省	昭22	二〇〇〇〇
78	新撰高等小学読本 卷四、五 育英社編	明27	四〇〇〇〇
79	高等国語読本 女子用下篇一、二 検定本	明33	四〇〇〇〇
80	中等国文三 文部省	昭19	二〇〇〇〇
81	くにのあゆみ 上・下 文部省	昭21	四〇〇〇〇
82	国語法教科書 検定本 藤岡勝一	大5	二〇〇〇〇
83	郷土人物 第一輯 京都市教育部	昭9	五〇〇〇〇
84	西洋歴史地図 検定本 三省堂	昭2	二〇〇〇〇
85	中等西洋歴史地図 検定本 村川堅固	昭10	二〇〇〇〇
86	高等小学地理書附図 文部省	昭15	二〇〇〇〇
87	高等小学地理書附図 文部省	昭12	四〇〇〇〇
88	新撰中地理書 山田行光編 題案欠	明38	三〇〇〇〇
89	国定小学地理附図(京都府用)普通教育研	明15	四〇〇〇〇
90	農工商小学入門 農業編 卷一 那須純一郎	明27	六〇〇〇〇
91	高等小学地理書 卷一、四 検定本 鈴木直二郎	明27	六〇〇〇〇
92	高等小学地理書 卷一、二 文部省	昭3	六〇〇〇〇
93	尋常小学綴方教授書 卷二 芦田忠之助	昭8	五〇〇〇〇
94	尋常小学綴方教授書 卷一 一、二 文部省	昭22	二〇〇〇〇
95	職業指導 中学校用 見角一徳 塾	昭18	五〇〇〇〇
96	英語會話口と口 岩堂 保	大4	五〇〇〇〇
97	英語會話口と口 岩堂 保	大4	五〇〇〇〇
98	兵語の解説 塚本秀雄	昭17	五〇〇〇〇
99	戦術学教程附録 全	昭17	六〇〇〇〇
100	学校教練必携 前後篇 陸軍省徵募課	昭14	六〇〇〇〇
101	案内教材 京都名所施設乗合自動車会社編	昭29	五〇〇〇〇
102	舞鶴史話 舞鶴市	昭32	三〇〇〇〇
103	滋賀県郷土史一、二、三、四 滋賀県郷土史学会	大11	三〇〇〇〇
104	雑誌 泉 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	大10	三〇〇〇〇
105	性科学研究 創刊号(大杉 栄)	大7	三〇〇〇〇
106	民衆の芸術 創刊号(生田春月他)	大7	三〇〇〇〇
107	女性改造 創刊号	大11	三〇〇〇〇
108	女人芸術 創刊号(山田梅栄)	大11	三〇〇〇〇

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八
振替 京都 三三二六八

1	美術史の基礎概念	岩波書店	昭44	八五〇〇
2	美術百科全書	佐藤義亮	昭9	一五〇〇〇
3	芸術国巡礼	林久男	大14	二五〇〇
4	芸術と神話	グラッシ	昭5	二八〇〇
5	アラスカに原始芸術を探る	宮武俊夫	昭8	二〇〇〇
6	美術解剖学	鈴木文太郎	昭41	七〇〇〇
7	顔の人類学	山崎清	昭18	一五〇〇〇
8	顔―表情・化粧の文化史	天佐書房	昭36	三〇〇〇
9	顔―表情・化粧の文化史	大和勇三	昭13	三〇〇〇
10	キュービズム	伊原宇三郎	昭13	六〇〇〇
11	18世紀フランス絵画の研究	アトリエ	昭44	六〇〇〇
12	19世紀仏国絵画史	坂垣鷹穂	昭18	四〇〇〇
13	フランスの近代画	岩波書店	昭4	一八〇〇
14	ルネッサンスのイタリヤ画家	朝日新聞	昭27	二五〇〇
15	随筆ヴィナス	矢代幸雄	昭28	四〇〇〇
16	アヴェマリアアミアアの美術	岩波書店	昭48	三〇〇〇
17	モナ・リザ論考	下村寅太郎	昭17	六〇〇〇
18	レオナルド・ダ・ヴィンチ	坂垣鷹穂	昭17	五〇〇〇
19	ダ・ヴィンチの創造的精神	坂垣鷹穂	昭17	五〇〇〇
20	親友ピカソ	サバルテ	昭25	三〇〇〇
21	ピカソの生涯	F・ジロー	昭40	四八〇〇
22	ピカソ札讃	神原泰	昭50	二七〇〇
23	画聖セザンヌ	ギヤスケ	昭17	四五〇〇
24	デュッラー	ルウジョン	昭18	四四〇〇
25	ドラクロア芸術と生活	坂崎坦	昭24	六五〇〇
26	ゴッ	武場隆三郎	昭25	一五〇〇
27	ゴッの芸術	野村滋夫	昭18	二〇〇〇
28	ヴァンゴッホの画集と評伝	郡山千冬	昭19	五八〇〇
29	中国美術の研究	田中豊蔵	昭39	六〇〇〇
30	日本美術の特質	矢代幸雄	昭18	四〇〇〇
31	日本美術史年表	源豊宗	昭53	四八〇〇
32	日本美術略史	帝室博物館	昭15	四〇〇〇
33	縄文の原型と弥生の原型	谷川徹三	昭48	三〇〇〇

34	上代倭絵年表	家永三郎	昭41	四〇〇〇
35	日本古美術案内	2冊 滝精一	昭6	五〇〇〇
36	推古彫刻	ウオーナー	昭33	五〇〇〇
37	円空 人と作品	江原順	昭26	四八〇〇
38	運慶	田中万宗	昭43	四〇〇〇
39	日本仏教美術の源流	奈良国立博物館	昭53	四〇〇〇
40	本朝画人伝 5冊	村松梢風	昭48	二五〇〇〇
41	日本画論大観(上)	坂崎坦	昭2	六五〇〇
42	日本近代美術史論	高啓爾	昭17	二八〇〇
43	近代絵画史論	植田寿蔵	昭14	七五〇〇
44	現代の日本画家	河原義和	昭26	二〇〇〇
45	光琳	田中一松	昭34	四〇〇〇
46	華山の研究	菅沼貞三	昭44	四〇〇〇
47	霞城習画帖	松田霞城	昭50	一五〇〇〇
48	美的形式 速成画法	松田霞城	昭41	七〇〇〇
49	動物と芸術	金井紫雲	昭7	六〇〇〇
50	清方随筆選集	鍋本清方	昭19	四〇〇〇
51	連翹	鍋本清方	昭18	二〇〇〇
52	風景画の描き方	鍋井克之	昭17	一〇〇〇
53	太湖無法	西山翠嶂	昭25	二五〇〇
54	回想の旅	中沢弘光	昭19	一八〇〇
55	看心有情 謹呈署名入	堂本印象	昭15	九五〇〇
56	黒田清輝日記 4冊	森口多里	昭16	一〇〇〇〇
57	黒田清輝日記 4冊	中央公論美術出版	昭42	一五〇〇〇
58	棟方志功 美術と人生	海上雅臣	昭51	一五〇〇
59	湧然する棟方志功	小高根二郎	昭51	二八〇〇
60	浮世絵誌 8冊	浮世絵誌会	昭56	一五〇〇〇
61	浮世絵概説	田中喜作	昭46	二五〇〇
62	近世風俗画史	大村文夫	昭18	四八〇〇
63	いんぼまづくし	洪井清	昭54	八八〇〇
64	日本秘画史考浮世絵の初期絵巻	アソカ書房	昭54	八八〇〇
65	本朝艶本艶画の分析鑑賞	高橋鉄	昭35	四八〇〇
66	喜多川歌麿	野口米次郎	昭21	四八〇〇
67	広重	内田實	昭53	三〇〇〇
68	北斎論	橋崎宗重	昭19	三〇〇〇
69	版画随筆	小林太市郎	昭21	三〇〇〇
70	版画随筆	徳力高吉郎	昭42	四〇〇〇
71	江戸イラスト	人物妖快	昭51	四〇〇〇
72	中国書道史	赤井清美	昭54	一四〇〇〇

73	日本書道大字典	2冊 北川・筒井	昭56	三〇〇〇
74	日本の名筆	堀江知彦	昭38	四〇〇〇
75	平安人物品志	短冊集影	昭46	三〇〇〇
76	冷泉為恭	逸木盛照	昭14	四八〇〇
77	冷泉為恭の生涯	逸木盛照	昭31	四八〇〇
78	明月遺墨集	芳賀直次郎	昭51	六六〇〇
79	紫舟作品集	其行会	昭50	二五〇〇〇
80	海雲の絵と字	上河海雲	昭5	八五〇〇
81	日本工芸史	渡辺素舟	昭27	四〇〇〇
82	日本工芸史	岡田謙	昭17	四〇〇〇
83	日本の工芸	高橋勇	昭39	一八〇〇
84	TRADITIONAL CRAFTS OF JAPAN	藤原義一	昭19	六五〇〇
85	日本建築経済史	原沢東吾	昭45	一三〇〇
86	古建築	川勝政太郎	昭52	一〇〇〇
87	古建築入門講話	川上貴	昭18	一〇〇〇
88	古建築の建築	黒田昇義	昭21	一六〇〇
89	大和の古塔	小川晴暁	昭51	一三〇〇
90	正倉院	青戸精一	昭17	一三〇〇
91	重要文化財民家移築の記録	當世田令子	昭21	一三〇〇
92	随筆 保存	重森三玲	昭21	一三〇〇
93	枯山水	岸田日出刀	昭12	四五〇〇
94	増補地錦抄	香山益彦	昭10	二五〇〇
95	パルテノン	コリニオン	昭53	四〇〇〇
96	現代日本映画大系	6冊	昭46	一五〇〇〇
97	映画講座	上野一郎	昭58	一〇〇〇
98	映画用語辞典	サドール	昭25	七〇〇〇
99	推理・SF映画史	加納一郎	昭50	三〇〇〇
100	映画美術	北川鉄夫	昭24	一八〇〇
101	新しい映画美術	ブリバグ	昭7	三〇〇〇
102	映画美術学入門	津村秀夫	昭24	三〇〇〇
103	映画芸術論	浅沼和夫	昭43	一五〇〇
104	映画と鑑賞	山田相夫	昭38	一八〇〇
105	外国映画代表作への招待	津村秀夫	昭25	二〇〇〇
106	アメリカ映画	双葉十三郎	昭48	三〇〇〇
107	アメリカ映画	森	昭25	二〇〇〇
108	アメリカ映画	岩雄	昭40	二〇〇〇
109	アメリカ映画	垂水	昭25	二〇〇〇

三密堂書店

電話(〇七五)二五一九六六三
振替 京都 四一三四七一

1	周易講義 二冊揃	根本通明著	近田書店	大7	一五〇〇〇
2	訓點周易正文	木村茂市郎著	高島易断	昭3	三〇〇〇
3	周易象意秘解	松原宏整著	山城屋	昭14	四〇〇〇
4	周易風俗通	吉川祐三著	須原屋	昭和4	五〇〇〇
5	周易觀音籤新釈	江守録輔著	佛教俱樂部	昭7	五〇〇〇
6	周易概論	兼坂晋著	博文館	昭8	一五〇〇〇
7	古易断時言	新井白蛾著	藤谷	昭32	三〇〇〇
8	新選易学小笈	松田定象著	神宮館	昭28	二〇〇〇
9	易学小笈	新井白蛾著	山縣校	昭25	二〇〇〇
10	易学小笈象意考	釈便道著	山城屋	文化5	二〇〇〇
11	易学階梯射覆必用	釈便道著	山城屋	昭再	二〇〇〇
12	易占自在	大島中堂著	生生書院	大15	七〇〇〇
13	占法要略 二冊揃	高松具陵著	河内屋	弘化4	五〇〇〇
14	測字精通	中村文聰編	悠久書閣	昭40	二〇〇〇
15	秘解測字占法	佐藤六竜著	明玄書房	昭34	二〇〇〇
16	断易指南鈔 一冊揃	馬場武信著	積善館	昭33	四〇〇〇
17	推命書 二冊揃	桜田虎門著	風祥堂	昭34	五〇〇〇
18	陰陽五要奇書 三冊揃	森重勝調点	須原屋	文化2	五〇〇〇
19	氣学哲理概論	相羽鴻賢著	天道堂	昭50	二〇〇〇
20	運命開拓秘伝	陽新堂主人著	永樂堂	大15	六〇〇〇
21	数約典解說講座	中司哲敏著	自家版	大2	五〇〇〇
22	親相入神伝 二冊揃	中村文聰著	運命学会	昭24	五〇〇〇
23	八宅明鏡辨解	菊地龜仙著	蕙志堂	昭23	三〇〇〇
24	方鑿必抽	尾島碩開編	磯川堂	昭22	二〇〇〇
25	方鑿秘伝集 三冊揃	松浦純逸著	伊藤	昭21	四〇〇〇
26	家相千年眼	三冊揃 白翁平澤著	玉皇弘化	大2	六〇〇〇
27	姓名構成秘法	石島道将著	神易	大15	二〇〇〇
28	指紋吉凶判断	高木乘著	春江堂	昭7	二〇〇〇
29	第七感の神秘	藤田夏夫訳	文化生活	昭4	二〇〇〇
30	第六感の神秘	藤田夏夫訳	紀元書房	昭12	二〇〇〇
31	大上甲庚秘録	菊丘卧仙撰	雲堂堂	昭和	二〇〇〇
32	心療図解	平田内蔵吉著	春陽堂	昭5	七〇〇〇
33	神道古義	友清歡真著	神道天行居	昭11	八〇〇〇

善書堂

電話(〇七五)二二二七七一一
振替 京都 四一三四七一

1	日本考古学辞典	東京堂	昭55	一〇〇〇〇
2	京都帝大考古学研究报告(揃)	臨川書店	昭51	一〇〇〇〇
3	鍾秀館蔵 日本石器時代土器選集		昭2	一〇〇〇〇
4	日本原始農業	東京考古学会	昭8	一〇〇〇〇
5	埴輪研究	東京考古学会	昭7	一五〇〇〇
6	秦漢瓦磚集録	堀口蘇山編	昭5	一六〇〇〇
7	奈良漢墓 (第一冊)	同刊行会	昭49	一三〇〇〇
8	下野伊豆日誌遺跡 二冊	南伊豆町教育委員会	昭53	一〇〇〇〇
9	上総 山王古墳	市原市教育委員会	昭55	一〇〇〇〇
10	高野山発掘調査報告書(財元興寺文化財研究所)		昭57	一〇〇〇〇
11	市道一長野泉佐久市市道遺跡の発掘調査		昭51	一五〇〇〇
12	大畑貝塚調査報告 福島県いわき市教育委員会		昭49	一〇〇〇〇
13	板橋区教育委員会		昭56	一六〇〇〇
14	千葉県市川市高島遺跡調査報告		昭57	一〇〇〇〇
15	千葉県市川市高島遺跡調査報告		昭55	一〇〇〇〇
16	常楽寺山古墳群調査報告書		昭52	一五〇〇〇
17	城の山・池田古墳	和田山町教育委員会	昭49	一六〇〇〇
18	武蔵伊興遺跡	伊興遺跡調査団	昭50	一五〇〇〇
19	柿坪中山古墳群	兵庫県山東町教育委員会	昭51	一〇〇〇〇
20	常陸浮島古墳群	浮島研究会	昭51	一〇〇〇〇
21	上岐市中央自動車道開通遺跡		昭46	一〇〇〇〇
22	軽野正境遺跡発掘調査報告書		昭54	一五〇〇〇
23	常陸部原遺跡	茨城県東海村教育委員会	昭57	一三〇〇〇
24	美園遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会	昭55	一四〇〇〇
25	常陸観音寺山古墳群の研究	茂木雅博	昭55	一四〇〇〇
26	埼玉県和光市 新倉平山古墳		昭56	一三〇〇〇
27	埼玉県和光市 新倉平山古墳		昭57	一三〇〇〇
28	大塚原古案跡試掘調査報告書	海南市教育委員会	昭55	一三〇〇〇
29	岡村遺跡確認調査概報	海南市教育委員会	昭55	一三〇〇〇
30	秋葉考古古館研究集	第一〇号	昭49	一八〇〇〇
31	倉敷考古古館研究集	第一〇号	昭49	一八〇〇〇
32	脇ノ谷古墳	白浜町教育委員会	昭55	一三〇〇〇
33	道成寺発掘調査報告1	天音山道成寺	昭53	一三〇〇〇

萩書房

電話(〇七五)四二二一三三二
振替 京都 八一四二六

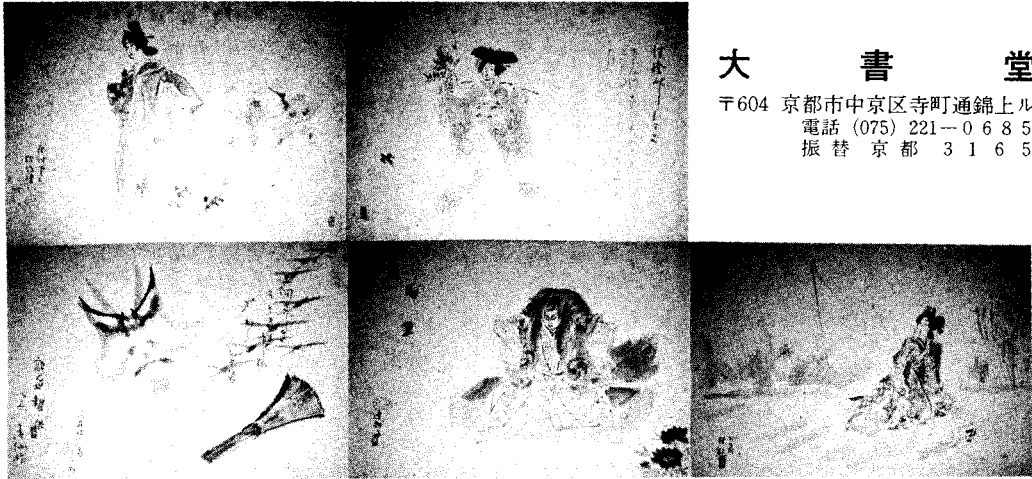
1	野間宏研究	葉師寺章明 笠間書院	昭52	一五〇〇〇
2	評伝米田文学大観 關一雄 立命館出版部		昭10	三〇〇〇
3	現代作家論 印有中 中島健蔵	河出書房	昭16	二〇〇〇
4	肉塊 再版函付	谷崎潤一郎 春陽堂	昭13	一〇〇〇〇
5	瘋癲老人日記 初版函付	谷崎潤一郎 志賀直哉	昭37	四〇〇〇
6	秋風特製限定版 版カバ付	志賀直哉	昭25	五〇〇〇
7	倫陵王 初版函付	三島由紀夫 新潮社	昭46	三〇〇〇
8	倫敦初版函付	長谷川如是閑 政教社	昭45	五〇〇〇
9	宗教的奇蹟 初版函付	柳宗悦 叢文閣	昭17	一〇〇〇〇
10	私の念願 初版函付	柳宗悦 不二書房	昭37	七〇〇〇
11	雲と泥	内島北朗 層雲社	昭37	一八〇〇〇
12	みみずの糞	内島北朗 層雲社	昭38	一八〇〇〇
13	歌集寒菊 初版函付	岸田千代子 立命館	昭12	五〇〇〇
14	三都花街文学	石川巖 從善所好社	昭14	三〇〇〇
15	江戸猥談	坂田俊夫 成光館	昭3	三〇〇〇
16	浮世絵と美人画	尾崎久弥 風俗資料刊行会	昭6	五〇〇〇
17	江戸時代の大奥 印有	横井春野 文教書院	昭3	五〇〇〇
18	江戸時代の角力	三木愛花 文教書院	昭3	五〇〇〇
19	北野会誌	磯谷勝二郎	昭39	六〇〇〇
20	妖怪学	井上門了 山洞書院	昭6	二五〇〇〇
21	美術と文学 ラスキン著 澤村寅二郎訳	有朋堂書店	大2	八〇〇〇
22	多賀工業専門学校の十年史		昭24	二〇〇〇
23	開学十五周年記念論文集	梅花女子大学	昭55	二〇〇〇
24	銭高君の面影 京都帝國大学土木工学教室		昭14	二〇〇〇
25	東方学報 京都第十七冊	京大人文科学研究所	昭24	八〇〇〇
26	京都第十八冊		昭25	八〇〇〇
27	京都第十九冊		昭26	八〇〇〇
28	京都第二十冊		昭26	八〇〇〇
29	京都第二十一冊		昭27	一〇〇〇〇
30	京都第二十二冊		昭31	一〇〇〇〇
31	京都第二十八冊		昭32	一〇〇〇〇
32	京都第二十三冊 股代青銅文化の研究		昭28	一〇〇〇〇
33	京都第二十四冊 元典章の研究		昭29	一五〇〇〇

〒600 京都市上京区河原町今出川上ル
上御霊前町四一二

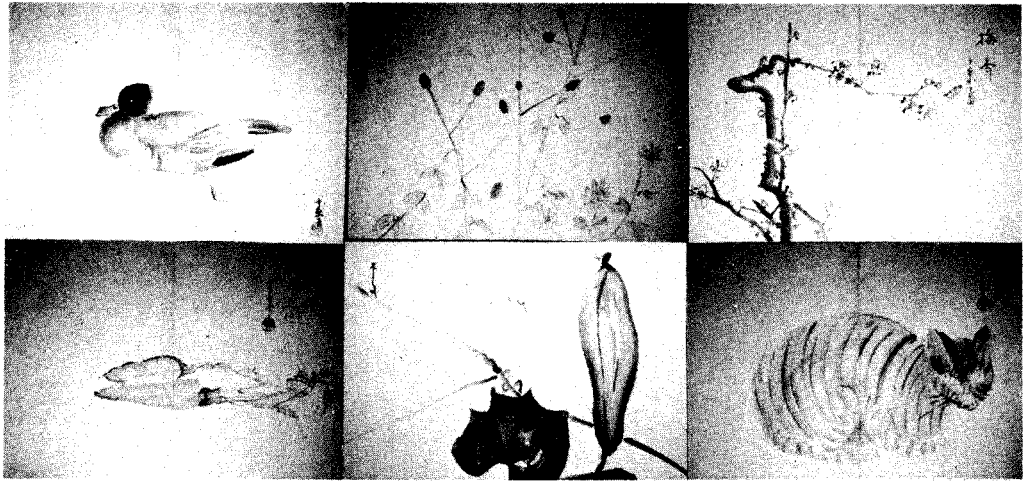
〒602 京都市上京区丸太通り上御霊前下ル

大書堂

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル
電話 (075) 221-0685
振替 京都 3165



名取春仙 梨園四季十二姿 肉筆 彩色画 (全16図 41cm×29cm) 一帳 ¥250,000
 深水、巴水と並び近代版画家としての巧績を世界に紹介され、特に古典・新劇の役者絵版画には優品が多い



三谷十糸子習作帳 肉筆 彩色画 (全29図 42cm×30cm) 昭和初年作 一帳 ¥300,000
 三谷十糸子、80才、勲三等、芸術院賞、日展6、文部大臣賞地 師西山翠嶺



狂言五十番 木版画 耕漁・江文筆 (全50枚附目次) 大黒屋版 ¥380,000
 木版の狂言画としては最も美しい摺りものです

八木書店古書部

電話(〇七五)八二一三八九〇

〒604 京都市中京区丸太町通千本西入南側

- 1 山雪庵筆 平安女性鶴を見るの図一幅古画 三,〇〇〇
- 2 京定御幸町三条松屋茶料領収書一紙木版 明初 三,〇〇〇
- 3 吉野大夫筆花の香や雨や吉野の雫かな画賛一紙 二,〇〇〇
- 4 三条大橋西詰初首亭 茶料領収書一通 明28 二,〇〇〇
- 5 奈良肉筆句集 龍 宵島外 明12 三,〇〇〇
- 6 明治大家句集春夏秋冬四冊中山英蔵輯 江戸末 五,〇〇〇
- 7 芭蕉袖草紙下巻 花屋庵奇測校 江戸中 三,〇〇〇
- 8 句集 更衣賀下巻虫入風麦飯阿波蔵六外 江戸末 二,五〇〇
- 9 調達講仕法帳 泉涌寺雲龍院悲田院 嘉永4 二,五〇〇
- 10 鷲橋筆 肉筆句集 有節九起 萬延2 三,〇〇〇
- 11 句集 桃の首途上中下3冊18世專雅自筆美濃漫山蔵 八,〇〇〇
- 12 夷社奉納四季発句集 京九起選句白筆 明初 三,〇〇〇
- 13 歌俳百人選2冊石雲居海寿著長州藩品川蔵 嘉永2 八,〇〇〇
- 14 白景堂草沖選 肉筆互評句集 明治 二,〇〇〇
- 15 俳諧発句眼気の伽 芹舎外 小本 小傷有明17 三,〇〇〇
- 16 平安句集 素屋編 大虫入 嘉永元 三,〇〇〇
- 17 上方俳星展覧会目録 昭7 二,五〇〇
- 18 篆刻鉞変 上下二冊 陳克恕 上海版乾隆31 五,〇〇〇
- 19 井伊直弼公肖像一紙 和英両文賛 明22 二,五〇〇
- 20 肉筆句集 5冊 杵溪外 江戸末 五,〇〇〇
- 21 俳諧新苑集 上巻 洛 九起編 文久3 三,〇〇〇
- 22 句集 おぼろ影 八十房流美追善無腸後序 明26 三,〇〇〇
- 23 句集 そのむつみ 梅敬弁前浦 明21 三,〇〇〇
- 24 句集 俳諧九百題下 秋冬合本 明12 二,〇〇〇
- 25 教化和讃 墨摺3丁 浄土宗 明意上人 慶応元 二,〇〇〇
- 26 句集 横山中遺稿 3冊不揃 大6 三,〇〇〇
- 27 肉筆句集 花雪撰 祝句80吟 明10頃 二,五〇〇
- 28 兵要日本地理小誌 3冊 一枚欠 明8 五,〇〇〇
- 29 對の花籠上下二冊 狂文亭春江 初版 明13 三,〇〇〇
- 30 狂句浜の真砂初編 雪曉選句集小傷小本 弘化4 三,〇〇〇
- 31 類題発句集 春夏秋冬雜5冊蝶夢編 安永3 八,〇〇〇
- 32 掌中古人五〇〇題 発句集 天保15 五,〇〇〇
- 33 句集 柱石集 一々五合本 萬延元 五,〇〇〇

- 34 天照皇太神 木版一幅 小品 明治 三,〇〇〇
- 35 冷泉村柳筆玉津島歌玉津島社司極書一卷 明和5 二,〇〇〇
- 36 唯一神道参詣之次第幽齋吉田二位一卷 寛政10 一,五〇〇
- 37 八橋亮茶禪翁筆 茶詩一幅 三,〇〇〇
- 38 鈴木松年筆 摩摩之図一幅 小品 三,〇〇〇
- 39 出雲札所33所尊像 墨摺一幅 明治 二,五〇〇
- 40 札法故美奥儀伝授状一卷 関郡馬徑貴筆 寛政12 八,〇〇〇
- 41 離屋立圃筆 句入消息一幅 傷有 五,〇〇〇
- 42 河合敬秀筆(文蔵) 千字文一幅 三,〇〇〇
- 43 黄檗山塔主準東堂指月禪師筆山水一幅 一五,〇〇〇
- 44 万国生命 肉筆彩色一幅 汚しみ傷 三,〇〇〇
- 45 黄檗山管長柏樹子和尚筆 趙州云々一幅 明7 一五,〇〇〇
- 46 妙心寺管長神月徹宗老師筆堪忍金袋画賛一幅 五,〇〇〇
- 47 東福寺管長敬仲和尚筆虫入半僧坊大権現一行一幅 一五,〇〇〇
- 48 龍谷枝子福田寺本寛筆 実語及一戒一行一幅 三,〇〇〇
- 49 慈光院二位美仲卿筆 松に雪日之出図一幅虫入五,〇〇〇
- 50 狩野洞白筆 鯉之図一幅 一五,〇〇〇
- 51 栖鳳門人月明筆 俳句画賛一紙めぐり 三,〇〇〇
- 52 石津83柏翁正月句一幅 八,〇〇〇
- 53 天のうづめ天皇神来迎え図 墨摺一幅 三,〇〇〇
- 54 利湧財豊一幅 肉筆彩色 清朝期 五,〇〇〇
- 55 建仁寺管長龍閣老師筆一行一幅 傷有 三,〇〇〇
- 56 大徳寺龍光院筆 消息一幅 江戸中 三,〇〇〇
- 57 清須古城残瓦 拓本一本 八,〇〇〇
- 58 胆山筆 志津嶺三詩一紙 濃尾云々 二,〇〇〇
- 59 井上円子筆 八坂神社 一行一幅 しみ有 三,〇〇〇
- 60 福田翠光筆 観音弁般若経賛一幅 五,〇〇〇
- 61 田部苔園筆 耽茶事 詩一幅 五,〇〇〇
- 62 魯松庵筆 布袋兼無一物句賛一幅江戸末 五,〇〇〇
- 63 水原竹香筆 蘭之図一幅 三,〇〇〇
- 64 寒山寺詩 月落鳥啼 拓本一幅 五,〇〇〇
- 65 玉温女史筆竹之図備後福山人香秀門虫入 文政13 五,〇〇〇
- 66 鸞亭筆 肉筆 大黒像一幅 三,〇〇〇
- 67 加藤清正像 彩色画一幅 明治 五,〇〇〇
- 68 予州西山興隆寺手親音立像 墨摺一幅 三,〇〇〇
- 69 易堂筆 藍田先生神主 一行一幅 三,〇〇〇
- 70 尾張大納言越前大藏大輔連名状坂兵大砲携伏見観 三,〇〇〇
- 71 天照皇太神兼歳徳神像 墨摺一幅 三,〇〇〇

- 72 近江国蒲生郡佐々木明神記佐々木兵庫頭 明暦2 五,〇〇〇
- 73 臥雲筆 邯鄲夢一場之詩一幅 江戸末 三,〇〇〇
- 74 若狭長明師神号竹千代様御守(家光) 正保元 五,〇〇〇
- 75 妙心寺管長 膳禪老師筆 扇面一幅 一五,〇〇〇
- 76 吹陽永叔筆 日本刀詩 扇面一幅 一五,〇〇〇
- 77 温斎筆 一行一幅 信州松代城主 八,〇〇〇
- 78 大雲和尚筆 季康運命論詩一幅 江戸末 八,〇〇〇
- 79 祐天上人筆 六字名号 五,〇〇〇
- 80 千年丹頂鶴 萬歳縁毛亀 拓本二紙 虫入傷 三,〇〇〇
- 81 萬々歳 困旗 妙心寺管長関芦山老師筆一幅 八,〇〇〇
- 82 琴平山図 墨摺一幅 三,〇〇〇
- 83 おひな様之図 肉筆彩色一幅 一五,〇〇〇
- 84 宝舟遺唐船 幅 墨摺 三,〇〇〇
- 85 清正公手形入 法華経墨摺一幅 五,〇〇〇
- 86 上田松涛筆 山水一幅 五,〇〇〇
- 87 金毘羅大将御像 奥院阿州蕃蔵山墨摺一幅 三,〇〇〇
- 88 山止舟筆 横物詩一幅 古筆 五,〇〇〇
- 89 歳徳神 一幅 一五,〇〇〇
- 90 出雲国大社 大黒天像 墨摺一幅 三,〇〇〇
- 91 伊予 大室和尚筆 二行詩めぐり一紙傷有 五,〇〇〇
- 92 魔力支天像 玄道賛一幅 三,〇〇〇
- 93 楠陣文芳野村將高師直来冠云々拓本一幅慶応元虫入 八,〇〇〇
- 94 楠公父子云々結城宗広公肖像并賛墨摺一幅明30 五,〇〇〇
- 95 日露戦争宣戦の詔勅明治天皇尊像一幅石版 五,〇〇〇
- 96 寺井南滄筆 鐘馗之図一幅 三,〇〇〇
- 97 北海外史筆 龍亭與金 詩書一紙横物 三,〇〇〇
- 98 駒の玉子 馬之拓本一幅 公 五,〇〇〇
- 99 俳人五舟筆 句入り消息一幅 江戸末 一五,〇〇〇
- 100 伊勢皇太神尊影一幅 肉筆 五,〇〇〇
- 101 和合生萬福日進太平権善賢文珠之仏一幅虫入 五,〇〇〇
- 102 左千夫詠 赤彦書 拓本一幅 三,〇〇〇
- 103 みだれ版(拓本)文津大黒尊像一幅 三,〇〇〇
- 104 浜口熊嶽筆 一行めぐり一紙 三,〇〇〇
- 105 呉城筆 七絶詩一幅 三,〇〇〇
- 106 菅公尊像 木版一幅 五,〇〇〇
- 107 大正帝即位式之図一幅 三,〇〇〇
- 108 多田北浪筆 乃木將軍 一死殉君之詩一紙 三,〇〇〇

山崎書店

電話(〇七五)六四一四七四
振替 京都 一八三六

Table with 3 columns: Item No., Title, Price. Items include '日本弁護士沿革史', '辯護士史', '裁判の歴史', etc.

谷書店

電話(〇七五)三六一七六九五
振替 京都 一八一七九

Table with 3 columns: Item No., Title, Price. Items include '平和の発見', '虐待の記録', '東條メモ', etc.

谷書店

電話(〇七五)三六一七六九五
振替 京都 一八一七九

Table with 3 columns: Item No., Title, Price. Items include '仏教入門', '根本中と空', '大乘と小乗', etc.

〒606 京都市左京区田中里ノ前町56

福田屋書店

電話(〇七五)七八一三三二六

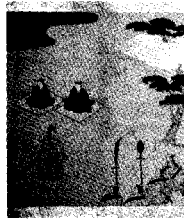
- 1 アプト梵英辞典 複製版 一九七八年版 四〇〇〇
- 2 東福寺誌 (極美) 昭5 二五〇〇〇
- 3 時業年表 望月華山編 昭45 五五〇〇
- 4 回教概論 大川周明 昭18 四〇〇〇
- 5 幕末史読本 田中義五郎 昭14 二五〇〇
- 6 蘇峰文選 民友社 昭6 八〇〇〇
- 7 蘇峰文選 民友社 昭6 八〇〇〇
- 8 中安信三郎追悼号(大日本国粋会) 昭8 三〇〇〇
- 9 ドレイフェス事件研究 黒田礼一 背少損 昭11 三〇〇〇
- 10 日露戦役回顧談集 京都聯隊区将校団 昭4 二五〇〇
- 11 ヘーゲル精神現象論 長尾尊、徳武 昭9 四五〇〇
- 12 フロロフ・パヴロフ及其学派 林操訳 昭13 四五〇〇
- 13 近代唯美思潮研究 益田道三 昭森社シミ 昭16 三〇〇〇
- 14 関西大学創立五十年史 昭11 三〇〇〇
- 15 京都府下中等学校校訓校歌等に関する調査 昭11 三〇〇〇
- 16 スポーツ科学講座 全十巻 大修館 昭16 一〇〇〇〇
- 17 種目別現代トレーニング法 猪飼道夫他編 昭54 三〇〇〇
- 18 学校体育と現代トレーニング 大修館 昭53 一五〇〇
- 19 現代トレーニングの科学 大修館 昭57 一五〇〇
- 20 遊びの指導百科 乳幼児編 森重敏編 昭58 二五〇〇
- 21 白秋全集(上製) 2,3,4,5,7,9巻 アルス 昭5 各一五〇〇
- 22 相聞 二一五 5冊 吉井勇他 太白社 昭4 三〇〇〇
- 23 道としての俳句 白田重浪 育英書院箱入 昭17 一五〇〇
- 24 とらぶ 初版 阿部徳蔵 第一書房上製 昭13 七五〇〇
- 25 婦人世界 大友七郎 合本一冊 各書共 昭5 二五〇〇
- 26 少女の友 大友七郎 合本一冊 各書共 昭5 二五〇〇
- 27 少女画報 大友七郎 合本一冊 各書共 昭5 二五〇〇
- 28 ⑦⑧月・合本 各冊共紙欠欠(内六冊夢) 昭44 四〇〇〇
- 29 浦本政二郎教授遺稿集(著北原久八研究) 昭44 四〇〇〇
- 30 小咄十種 関書刊行会 昭11 六五〇〇
- 31 純粋映画記 北川冬彦 第一芸文社箱美 昭11 四〇〇〇
- 32 新映画論 飯島正 西東書林 箱美 昭11 四〇〇〇
- 日本映画様式考 岸松雄 河出書房箱美 昭12 八〇〇〇

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

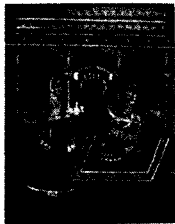
藤井文政堂

電話(〇七五)三五二一九三六
振替 京都 七三二二五二

- 1 高浜虚子扇面俳句 虫ノ声句 一枚 七〇〇〇
- 2 河東碧梧桐俳句短冊 藤棚句 一枚 三〇〇〇
- 3 太田垣蓮月尼和歌短冊 一枚 三〇〇〇
- 4 伊藤東涯尺牘 永田省吾宛 一幅 五〇〇〇
- 5 大宰春臺尺牘 一幅 五〇〇〇
- 6 陳元賢白象愛蓮說卵譜 丁末(寛文七年) 晩冬ニ云々の署名あり 一幅 四〇〇〇
- 7 市川米庵筆「雨中鴨川詩文」 一幅 三〇〇〇
- 8 青葉半山筆画賛 高松藩儒者講道館絵裁 一幅 一五〇〇
- 9 松井鳴庵一行書 出雲ノ儒者 一幅 三〇〇〇



奈良絵 江戸中期 一枚 三〇〇〇〇円



インド細密絵 女性之図 21×16 額 四五〇〇〇円
大王之図 22×17 額 四九〇〇〇円

〒604 京都市中京区壬生下溝町七一

藤原学 北御所書房壬生営業所

電話(〇七五)三二五二一五六〇

住所変更

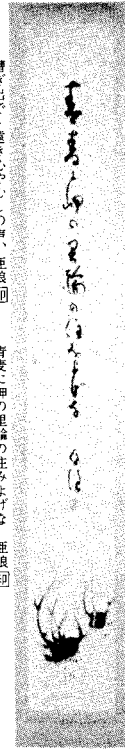
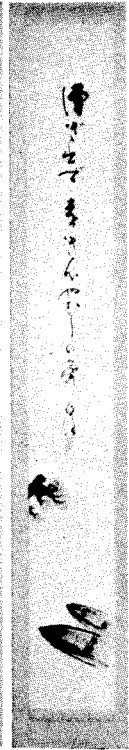
御注文は右記のところへ御願ひ申し上げます。

- 1 日本印刷学会誌 3/9/7/9内11冊 昭11 二〇〇〇
- 2 新文化 縮冊版 19/9/28/10内 10冊 昭7 三〇〇〇
- 3 新文化 縮冊版 179 新文化通信社 昭5 五〇〇〇
- 4 図書評論 1/20 復刻 昭54 二〇〇〇
- 5 図書館界 20/72 合本3冊 日本国協会 昭29 一五〇〇
- 6 図書館六法 全国学校図書館協議会 昭54 二〇〇〇
- 7 図書館の話 森 耕一 昭56 一〇〇〇
- 8 ニュース・イヤブック 昭56 一〇〇〇
- 9 日本書籍総目録 79 日本書籍出版協会 昭56 一〇〇〇
- 10 日本出版社 78/80 出版ニュース社 昭29 各 一〇〇〇
- 11 翻訳物発行の許可制度 46頁 文部省 昭50 三〇〇〇
- 12 出版編集技術 全4冊 昭57 四〇〇〇
- 13 校正技術 全2冊 昭57 四〇〇〇
- 14 造本と印刷 正統2冊 昭23 三〇〇〇
- 15 基本本づくり 山岡謙七 昭42 一八〇〇
- 16 出版好不況下興亡の一組 鈴木敏夫 昭45 三〇〇〇
- 17 出版の現場学 鈴木均 昭53 一八〇〇
- 18 棚の生理学 下村彦四郎 昭45 一五〇〇
- 19 踏んでもけつても 田中治男 昭50 一〇〇〇
- 20 書店読本 全国書籍商組合連合会 昭12 二五〇〇
- 21 図書券十年のあゆみ 日本図書普及会 昭46 一五〇〇
- 22 日本放送出版協会50年のあゆみ 書論8・9号 昭56 一五〇〇
- 23 龍門50品 上下2冊 昭51 三〇〇〇
- 24 龍門二十品 書道文庫外待素心巻 昭14 二〇〇〇
- 25 泉屋博古館 住友コレクション展 昭55 一〇〇〇
- 26 泉屋博古館 中国絵画・書 昭55 一〇〇〇
- 27 経塚遺宝展 奈良国立博物館 昭56 一〇〇〇
- 28 肖像美術の諸問題 仏教美術研究 昭53 一〇〇〇
- 29 仏教美術73・74・93 昭53 各 一〇〇〇
- 30 高松塚壁画古墳特集 昭53 一〇〇〇
- 31 石山寺特集 昭53 一〇〇〇

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
電話(075-231-1914) 振替 京都8-615

1 白田亜浪 春秋自画賛 淡彩 双幅(各16×128横) 杉箱入 美 二二〇,〇〇〇円



2 島道素石 筍自画賛 淡彩 自題共箱(23×125横) 未表装 美 一枚 一五,〇〇〇円



3 河東碧梧桐 短冊 桜咲きそめし下の人のよる中にある 絹本 美 三五,〇〇〇円



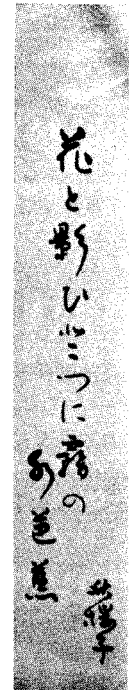
4 青木月斗 短冊 行舟に一釣客や権ひ 金砂子 美 二二,〇〇〇円



5 青木月斗 短冊 八大龍王怒て雲を捲らし 朱地金砂子 美 二二,〇〇〇円



6 水原秋桜子 短冊 花と影ひとつに霞の水芭蕉 美 五〇,〇〇〇円



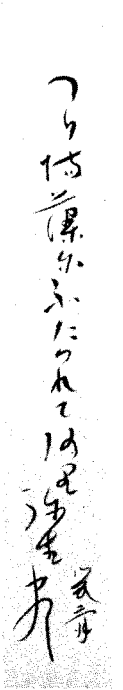
7 阿波野青歌 短冊 難段やうるふ運れに百姓家 美 一〇,〇〇〇円



8 篠原温亭 短冊 酔ひしれて歩くや 元日 美 八,〇〇〇円



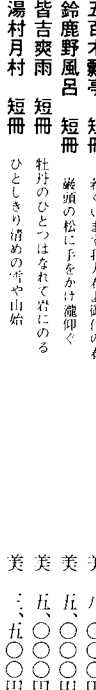
9 寒川鼠骨 短冊 つり場藻にふたかれてあり弥生尽 美 八,〇〇〇円



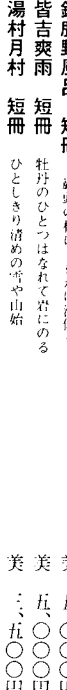
10 大谷句佛 短冊 師徳 音なくて浦井戸ある春の水 朱地 美 二八,〇〇〇円



11 巖谷小波 短冊 鬼に流く子にはやるまい柏餅 美 八,〇〇〇円



12 五百木瓢亭 短冊 若くはます我大君よ御代の春 美 八,〇〇〇円



13 鈴鹿野風呂 短冊 巖頭の松に手をかけ瀧仰ぐ 美 五,〇〇〇円



14 皆吉爽雨 短冊 牡丹の心とつはなれて君にのる 美 五,〇〇〇円

15 湯村月村 短冊 ひとしきり清めの雪や山始 美 三,五〇〇円

江月宗玩

墨蹟之寫 禪林墨蹟の研究 上巻

竹内尚次著

本書は博多崇福寺に秘蔵された、大徳寺一五六世江月宗玩禪師の、慶長十六年より寛永二十年にいたる禪林美術(墨蹟および着賛絵画)の貴重な鑑定日録である。上段に江月禪師自筆本の写真版を、下段に釈文と註釈を付す。上巻には慶長十六年より元和九年までを収録する。禪林美術・仏教美術研究史上に輝く大著!!

A4判/豪華特装本/本文二〇〇頁 定価三四〇〇〇円

訂増 寰宇貞石圖 河井荃蘆監修 藤原楚水編纂

中国上古から漢魏六朝・唐代、および日本・朝鮮の著名石刻碑碣を加えた整本四七〇余種、六〇〇余図を集大成。すべてを縮印し碑形を明らかにすることを主眼にした大著。清人楊守敬三六〇余拓からなる同名の書の遺漏を補い、更に近年出土のもの百余を加えて面目一新、最も完備せるものと称されている。原本は昭和十四年刊、今回新たに詳細な解説を付す。書字・書道史研究者必携の名著。

B3変型判/豪華愛蔵版 定価六五〇〇〇円

竹田名蹟圖誌

外狩業心庵纂編/田能村竹田の名作の数数を収録。詳細な解説、題詩語の釈文論文集を付す。全2巻 揃価98800円

渡邊華山先生錦心圖譜

編集代表 鈴木栄之亮/昭和15年開催の没後百年記念大展覧会出陳作の全てを特写し編纂したもの。定価85000円

酒井抱二畫集

抱上人眞蹟二册 A3判・四方映入付巻 和綴巻映入付巻 一册 定価198000円

国書刊行会 千七百〇 東京都豊島区巢鴨三五一八 西〇三〇九一七 8287 小社の書籍は注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。

訓註 禅林句集

輯老師全柴山 定価1,500円送料250円

仏教書取り揃えております 葉書にて御照会下さい。

其中堂 振替京都538 TEL.231-2971 千604 京都市中京区寺町通三条北

思わぬ出費!

その様な時、御利用下さい。

京都市上京区河原町今出川上る ☎231-7711番

ZENSHOD 本専門の質屋 善書堂

☆御用済の書籍については

京都古書研究会加盟店へ御相談下さい☆

近藤瓶城編／近藤圭造編

改定 史籍集覽

付録目録題 全三十三冊

明治十四年、近藤瓶城によって編集出版された「史籍集覽(和装) 四六八冊を嗣子圭造が改編、新しく一六〇余种を増補して同三十三年から「改定史籍集覽(洋装)」として刊行された全三十三冊の復刻。国史大系、群書類従と並ぶ不可欠の基本図書。

■A5判クロス装／箱入／各巻平均八五〇頁
配本／第一回(一)十冊 既刊 八四、〇〇〇円
第二回(十一)廿冊 昭和59年2月28日 八〇、〇〇〇円
第三回(廿一)廿七冊及び編外(一)五冊並びに総目録題(一冊) 昭和59年4月30日 九六、〇〇〇円

全巻セット特別定価二六〇、〇〇〇円(昭和59年3月末日迄各冊分売可)

森田龍徳著作刊行書目

著者 森田龍徳和尚は、空海の教義における本覚思想を重視する立場から、とりわけ「釈摩訶衍論」の研究に心血を注ぎ、その業績は高く評価され後学の規範とされている。幅広い資料に基づき、鋭利な分析的、確かな判断によって密教の本質を追求した研究者必読の名著シリーズ。

真言密教の本質

A5判クロス装／箱入／本文三二二頁 定価四六〇〇円

高野の三大寶

A5判クロス装／箱入／本文三〇四頁／口絵写真三枚／定価四七〇〇円

即身成佛の觀行

A5判クロス装／箱入／本文三〇四頁 定価四、五〇〇円

秘密佛敎の研究

A5判クロス装／箱入／三六二頁 定価四、七〇〇円

密敎占星法 全二冊

A5判クロス装／箱入／本文九〇六頁／極彩色図版三〇枚／曼荼羅圖表二枚付 全二冊 定価一七、〇〇〇円

シルヴァン・レヴィ訳編

最新刊 大乘莊嚴經論

Rinsen Buddhist Text Series IV
S. LAVI MAHAYANA-SUTRALAMKARA
■A5判紙装／総五八二頁／全二冊 定価六、六〇〇円

臨川書店

本社 京都市左京区今出川通川端東入50M ☎075-721-7111
東京支店 千代田区飯田橋四一七一六曙ビル ☎03-263-4320

学

能勢朝次著作集 全十卷

能勢朝次著作集編集委員会編
中世文学、能楽——その大成者世阿弥について最も基礎的な考え方を握る、連歌、俳諧、芭蕉に關して先駆的な研究をなした著者の論考を全十巻に集大成。(「ゴチャク」は既刊)

- 1 国文学研究
- 2 中世文学研究
- 3 近世和歌研究
- 4 能楽研究(一)
- 5 能楽研究(二)
- 6 連歌研究(三)
- 7 連歌研究(四)
- 8 連歌俳諧研究
- 9 俳諧研究(一)
- 10 俳諧研究(二)

▲A5判・平均四八〇頁／定価四、〇〇〇円／六、六〇〇円

国

名家伝記資料集成

森繁夫編・中野莊次補訂(全五巻)限定出版・予約受付中／一月下旬刊
鎌倉末期から昭和二十年迄に没した国学者・漢学者・文人・高僧・芸術家、政治家・志士等、名家四万五千余名の伝記資料を網羅。第五巻には総索引のほか、別号・屋号・別姓・国名称呼を付して検索の便を図った。

▲A5判総頁五四〇〇頁／定価二二〇、〇〇〇円／分割価一三〇、〇〇〇円

陽明叢書 記録文書篇

全十輯 二十一冊 別輯一

監修 近衛通隆／編集顧問 熱田公・益田宗／編集(財)陽明文庫

輯	収録	内容	容
第一輯	御堂閨白記(一)五		全五冊
第二輯	岡屋閨白記・深心院閨白記・後知足院閨白記		全三冊
第三輯	後法成寺閨白記(一)三		全三冊
第四輯	愚昧記・永昌記・大府記ほか		全四冊
第五輯	人車記(一)四		全四冊
第六輯	平記・範輔記		全三冊
第七輯	法制史料集		全三冊
第八輯	名家消息集		全三冊
第九輯	紙背文書集(一)三		全三冊
第十輯	所領関係文書集		全三冊
別輯	宮城		全三冊

■未刊行史料を中心に史料の価値の高いものを収録
■直接撮影による複製版とし第一輯以外は横綴
■各輯ごとに書誌を中心とした解説を付す。解説には第一人者の研究者をあてる。

※ 第三回配本／一月下旬刊
※ 第一輯 御堂閨白記三 定価一〇、八〇〇円
※ 以後三ヶ月に一冊配本
※ 平均定価九、八〇〇円
※ 呈内容見本

歴

京都中世都市史研究

高橋康夫著／思文閣史学叢書第三輯
中世京都における都市空間形成過程にかかわる種々の問題を、今日の都市再開発問題をも射程に入れて都市史と建築史の両面から論及した新鋭の一書。

▲A5判・五二〇頁／定価七、八〇〇円

本社 京都市左京区田中閨町2-7 〒606 (075) 751-1781

思文閣出版

支社 東京都千代田区三崎町2-20 〒101 (03) 263-6348